

在宅医療・介護に関するアンケート調査  
(備前調査区版)

平成 28 年 3 月

和気医師会・備前市・和気町

# 第一部 調査の概要

## 1 調査の目的

住民及びその家族が介護を必要とする状況になったとき、また人生の最終段階を迎えたときに暮らしたい場所や利用したいサービスについて意向調査を実施し、住民各自が希望に沿った自分らしい生活を送ることができるよう、医療・介護の提供体制の充実のための指針作成等に活用する。

## 2 調査の方法

- (1) 調査地域 備前市
- (2) 調査対象者 市内在住の40歳以上79歳以下の男女1,200人
- (3) 調査方法 住民基本台帳から無作為抽出して調査票を郵送配付（郵送回収）
- (4) 回収結果 605人（回収率 50.4%）
- (5) 調査期間 平成28年1月15日（金）～2月29日（月）

## 3 分析・表示について

- 1. 比率については四捨五入の関係から合計が100.0とならない場合がある。
- 2. 複数回答が可能な項目については、原則としてその項目に対して有効な回答をした人の数を基数として比率算出を行っているため、比率計は100%を超えている。
- 3. 報告書中の図表では、表記の都合上、回答選択肢の表現を短縮している場合がある。

## 第二部 調査結果

### I 基本情報（問1～問4）

#### ① 性別及び居住地区

	全体	備前学区	伊里学区	三石学区	日生学区	吉永学区	無回答
男性	260 43.0%	115 19.0%	44 7.3%	15 2.5%	42 6.9%	43 7.1%	1 0.2%
女性	342 56.5%	148 24.5%	42 6.9%	37 6.1%	65 10.7%	48 7.9%	2 0.3%
無回答	3 0.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.2%	1 0.2%	1 0.2%
計	605 100.0%	263 43.5%	86 14.2%	52 8.6%	108 17.9%	92 15.2%	4 0.7%

#### ② 性別及び年齢階層

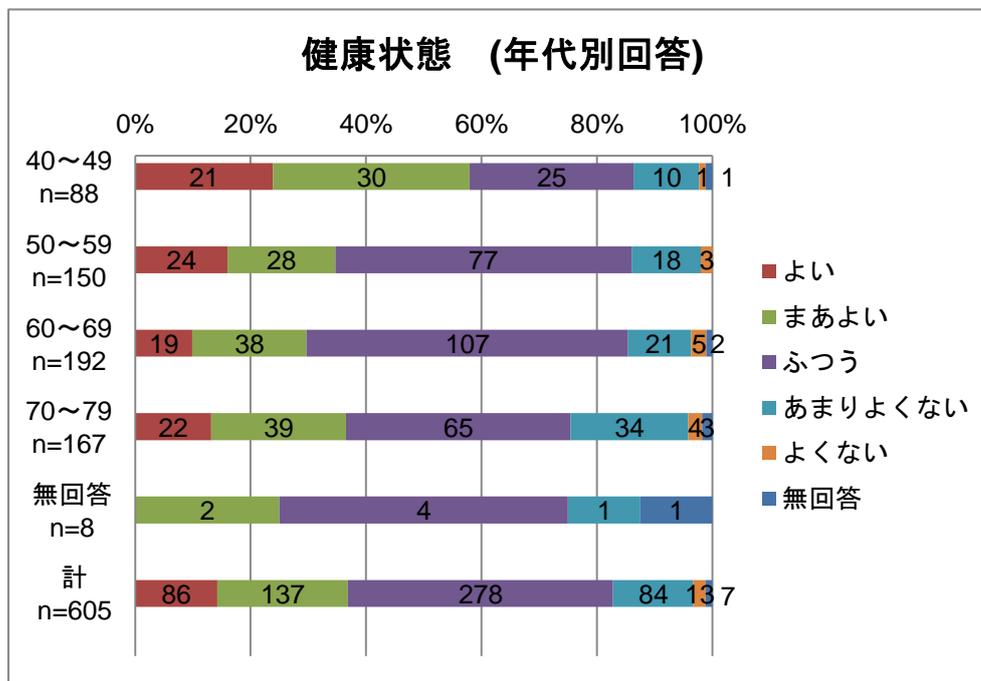
	全体	40～49	50～59	60～69	70～79	無回答
男性	260 43.0%	36 6.0%	70 11.6%	96 15.9%	55 9.1%	3 0.5%
女性	342 56.5%	51 8.4%	80 13.2%	96 15.9%	111 18.3%	4 0.7%
無回答	3 0.5%	1 0.2%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.2%	1 0.2%
計	605 100.0%	88 14.5%	150 24.8%	192 31.7%	167 27.6%	8 1.3%

③ 年齢階層及び家族構成

	全体	単身世帯	夫婦のみ	二世帯(本人(夫婦)+子ども)	二世帯(本人(夫婦)+親)	三世帯世帯以上	その他	無回答
40～49	88 14.5%	2 0.3%	4 0.7%	45 7.4%	19 3.1%	14 2.3%	4 0.7%	0 0.0%
50～59	150 24.9%	6 1.0%	24 4.0%	59 9.8%	17 2.8%	33 5.5%	10 1.7%	1 0.2%
60～69	192 31.7%	23 3.8%	64 10.6%	45 7.4%	21 3.5%	25 4.1%	13 2.1%	1 0.2%
70～79	167 27.6%	20 3.3%	90 14.9%	28 4.6%	5 0.8%	10 1.7%	11 1.8%	3 0.5%
無回答	8 1.3%	1 0.2%	1 0.2%	2 0.3%	0 0.0%	1 0.2%	1 0.2%	2 0.3%
計	605 100.0%	52 8.6%	183 30.2%	179 29.6%	62 10.2%	83 13.7%	39 6.4%	7 1.2%

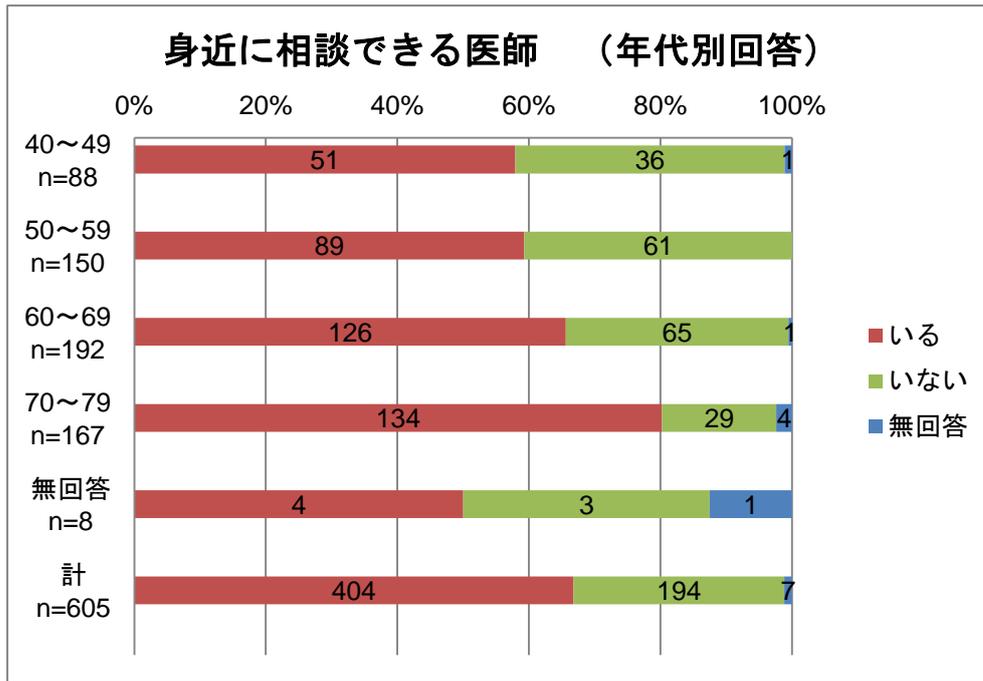
II 医療機関の受診について

問5 あなたの今の健康状態は次のどれに当てはまりますか。(○は1つ)

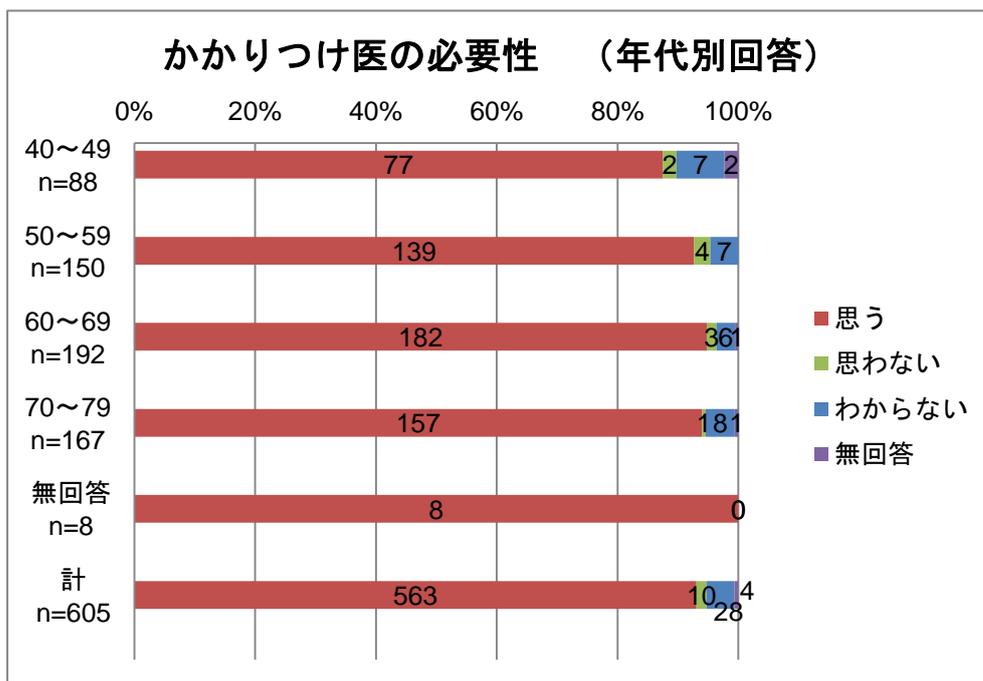


健康状態については、年齢が高くなるほど「あまりよくない」「よくない」と回答した人の割合が高くなっている。また、「よい」「まあよい」と回答した人の割合は、60代よりも70代で高くなっている。

問6 あなたが体の不調を感じたとき、身近に相談できる医師がいますか。(○は1つ)

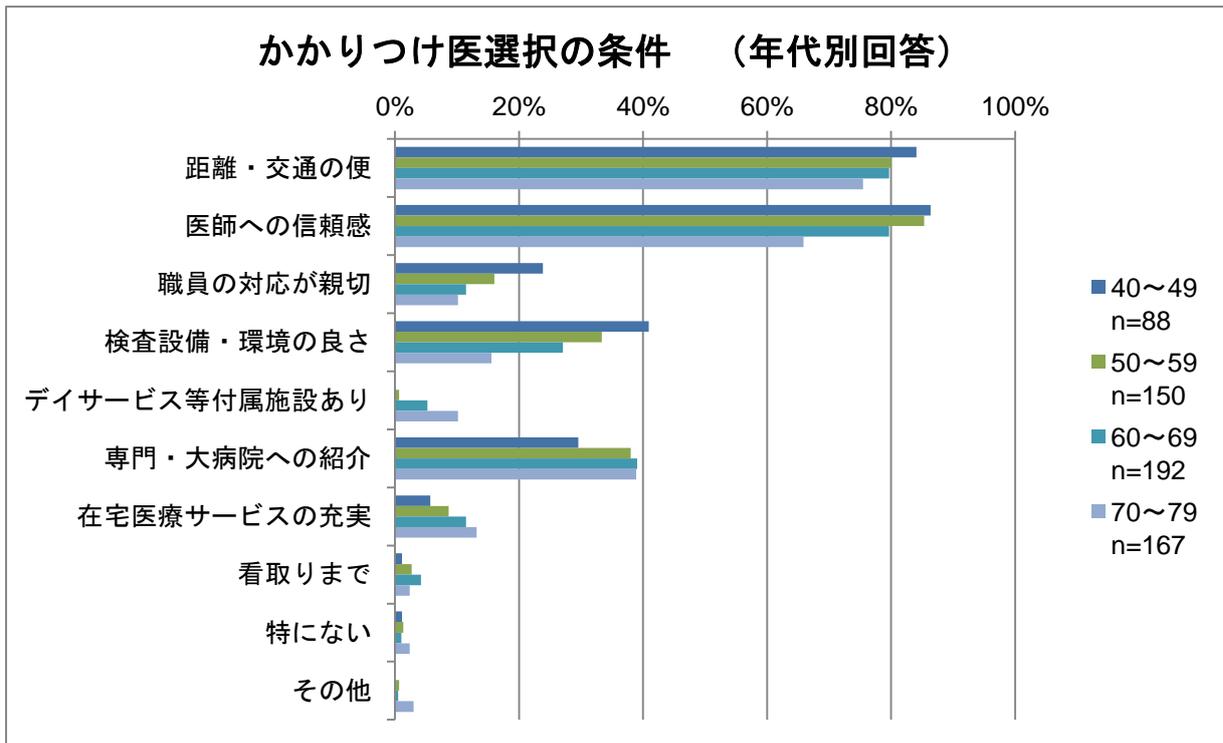


問7 かかりつけ医は必要だと思いますか。(○は1つ)



身近に相談できる医師が「いる」と答えた人は、40代では58%で、年齢階層が高くなるほどその割合は高くなり、70代では80%を超えている。一方、かかりつけ医の必要性については、各年代とも8割以上が「必要と思う」と回答している。

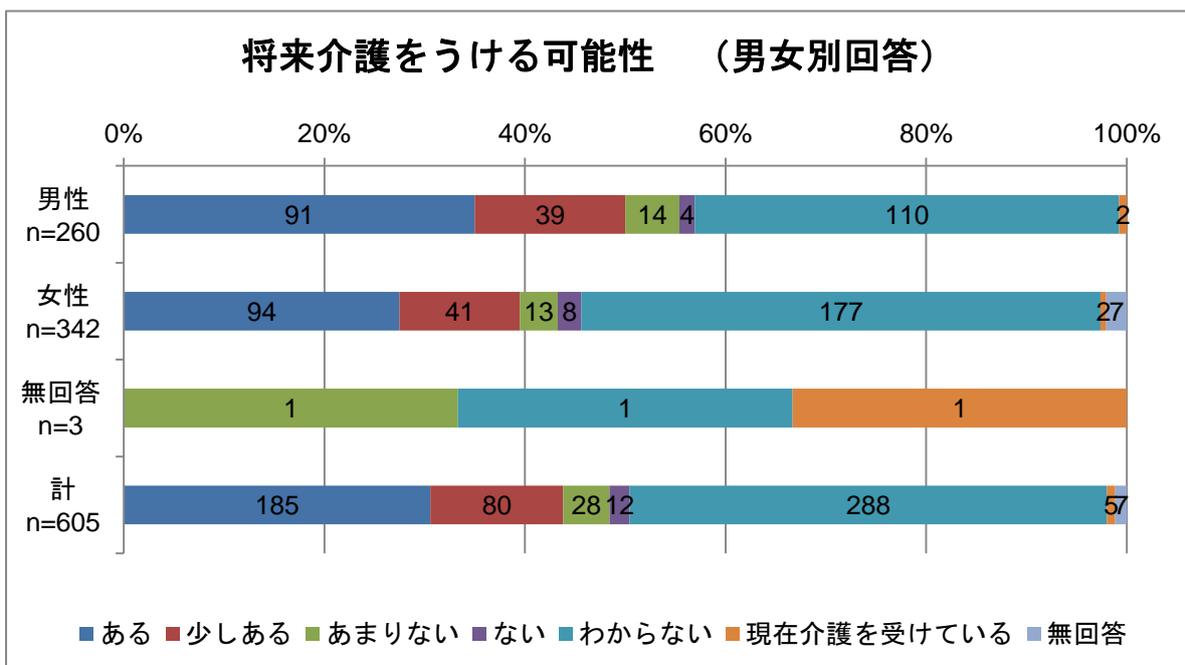
問8 かかりつけ医を決めるときの条件は何ですか。(〇は3つまで)



かかりつけ医を決めるときの条件としては、年齢階層によらず「距離・交通の便」、「医師への信頼感」を重視している。また、若い年代ほど「医師への信頼感」、「職員の対応が親切」、「検査設備・環境の良さ」を重視する傾向があり、年齢階層が高くなるほど「専門・大病院への紹介」、「在宅医療サービスの充実」を重視する傾向が見られた。

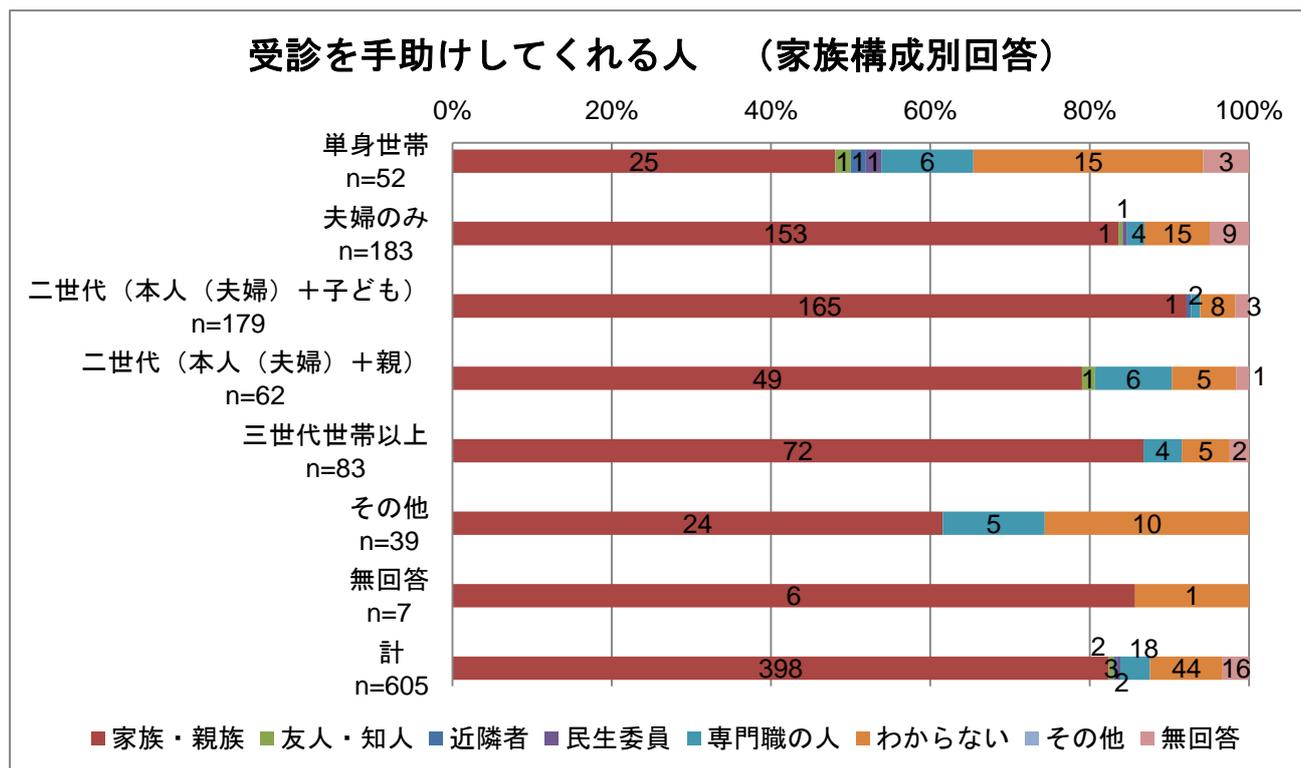
### Ⅲ 医療と介護について

問9 あなたは、将来介護をうける可能性はありますか。(〇は1つ)



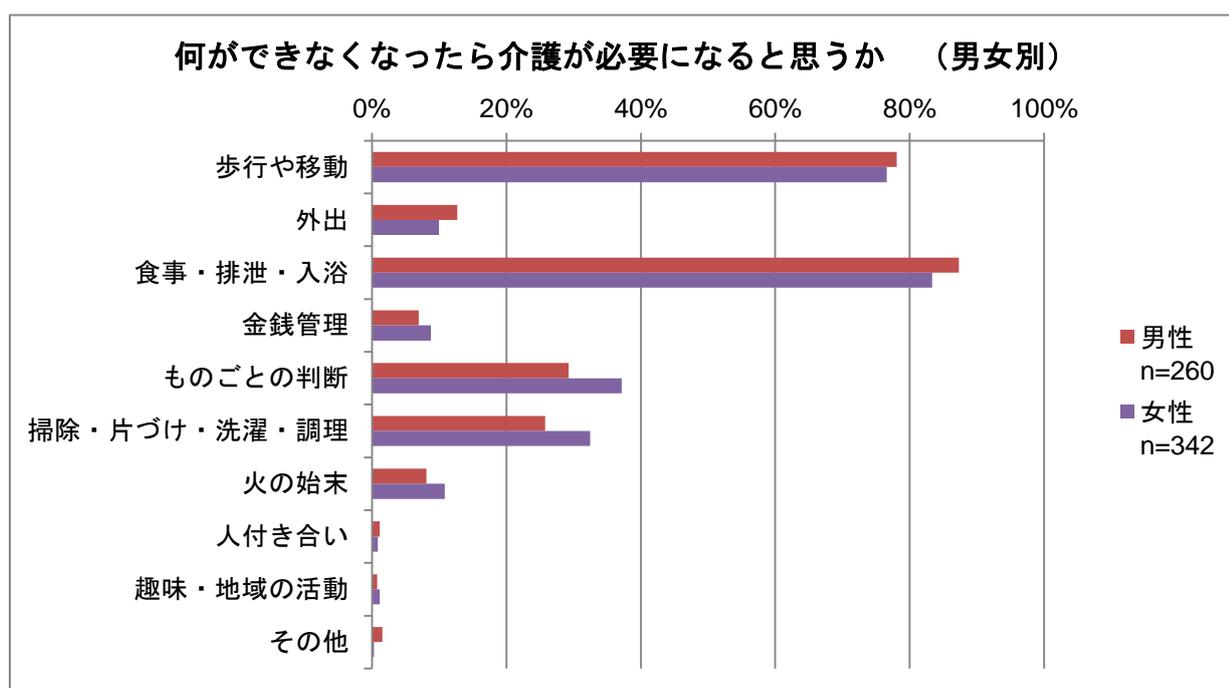
将来介護を受ける可能性については、「ある」「少しある」と回答した割合は、いずれも男性が女性を上回っている。

問10 あなたが高齢になって、常に誰かの手助けが必要になったとき、医療機関を受診する際に最も手助けをしてくれる人は誰だと思いますか。(〇は1つ)



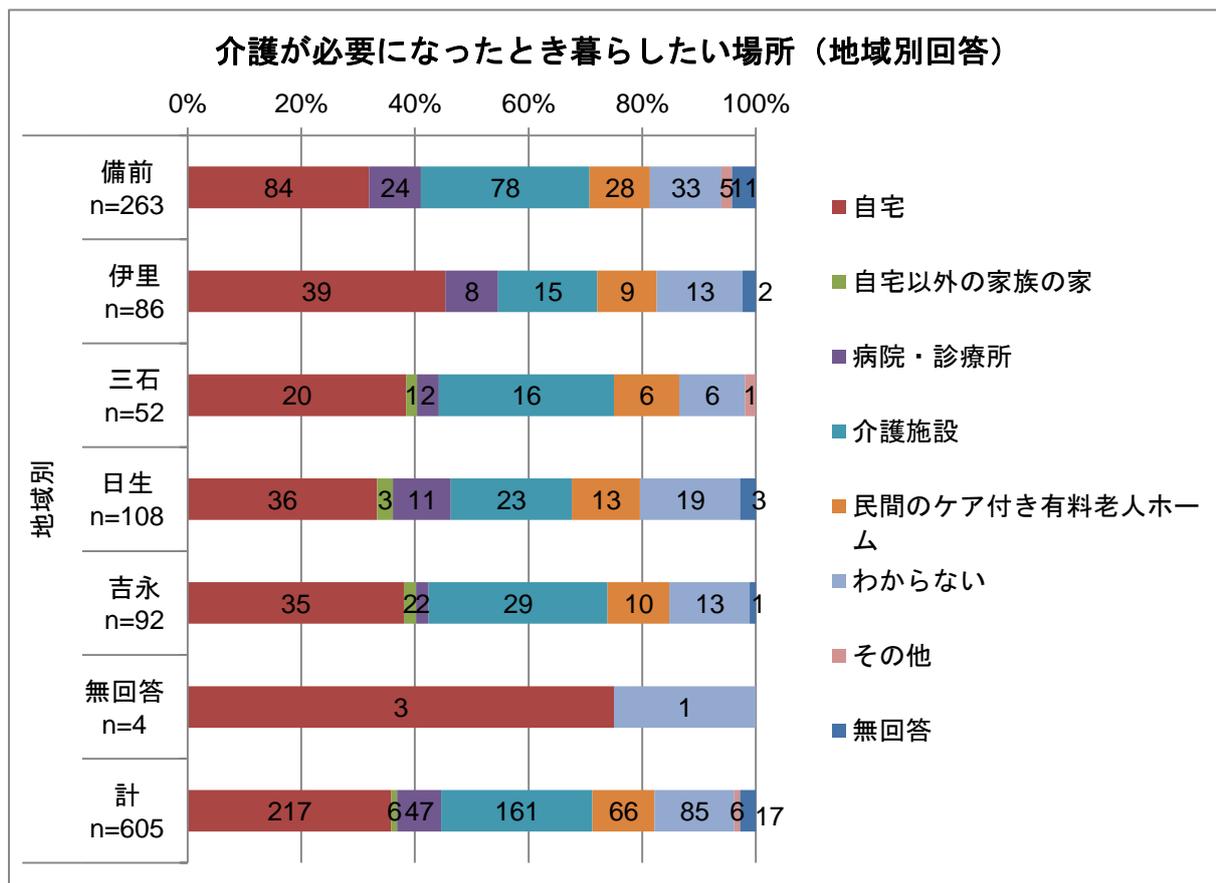
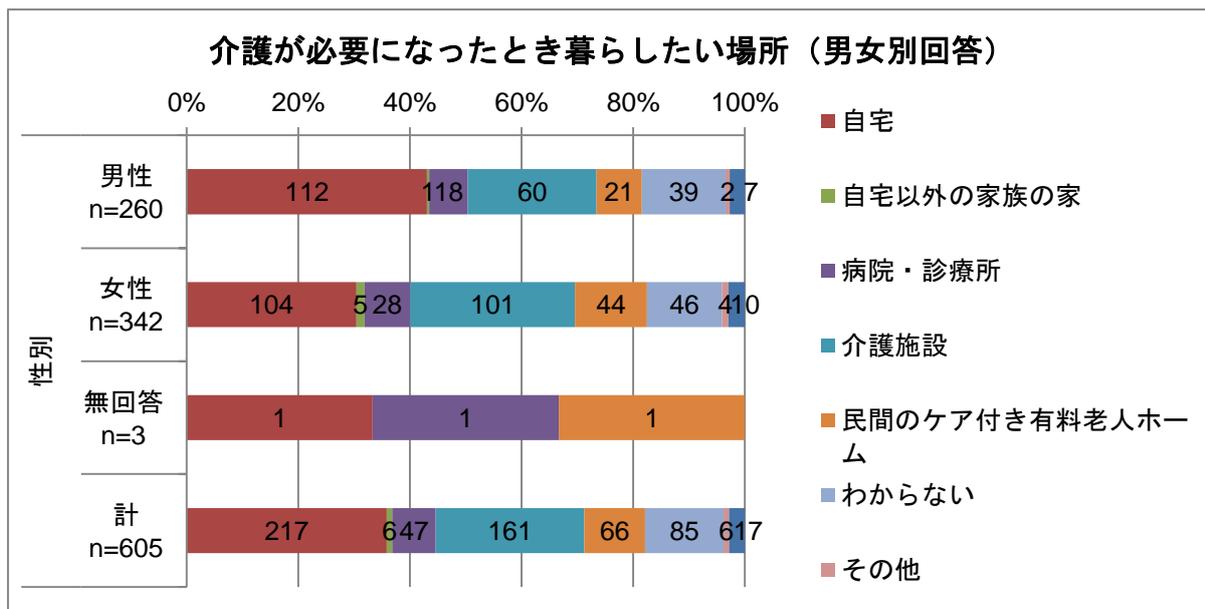
医療機関の受診を手助けしてくれると思う人については、同居家族のいる世帯では「家族・親族」と回答した割合が高くなっている。一方、単身世帯では「専門職の人」を期待する割合が高いとともに、「わからない」との回答が27%を占めている。

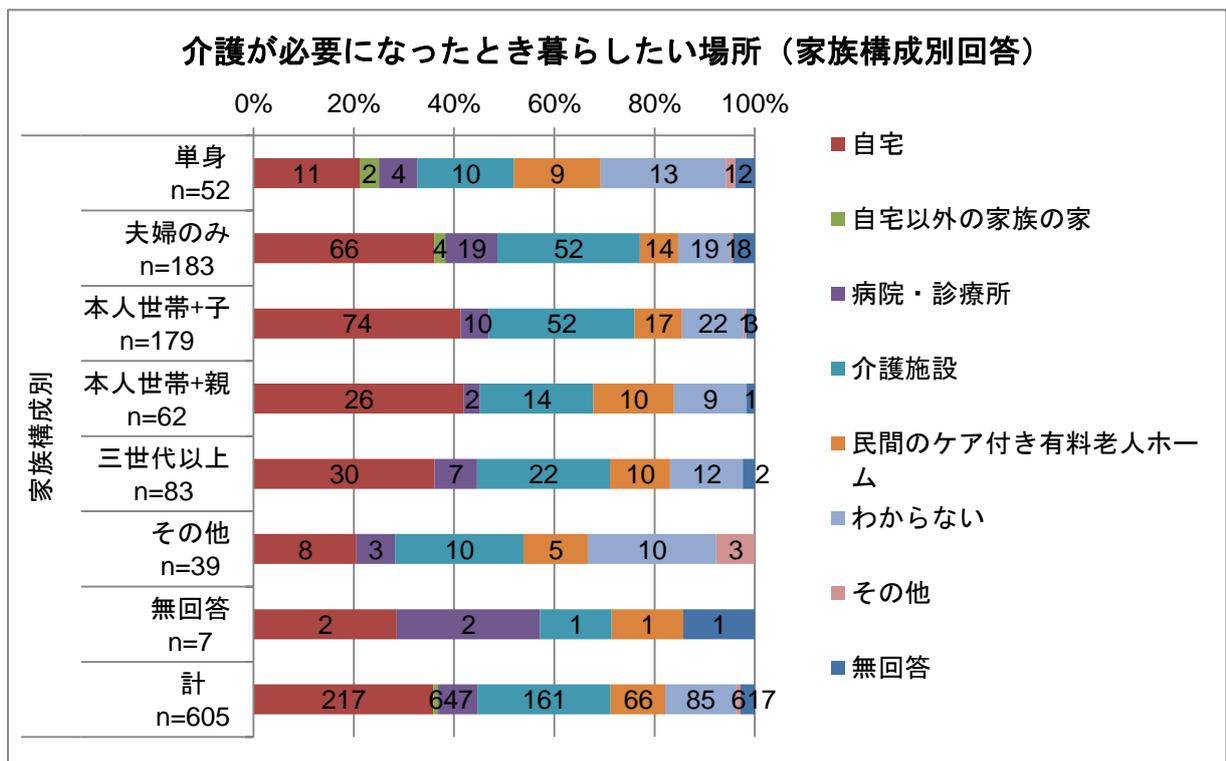
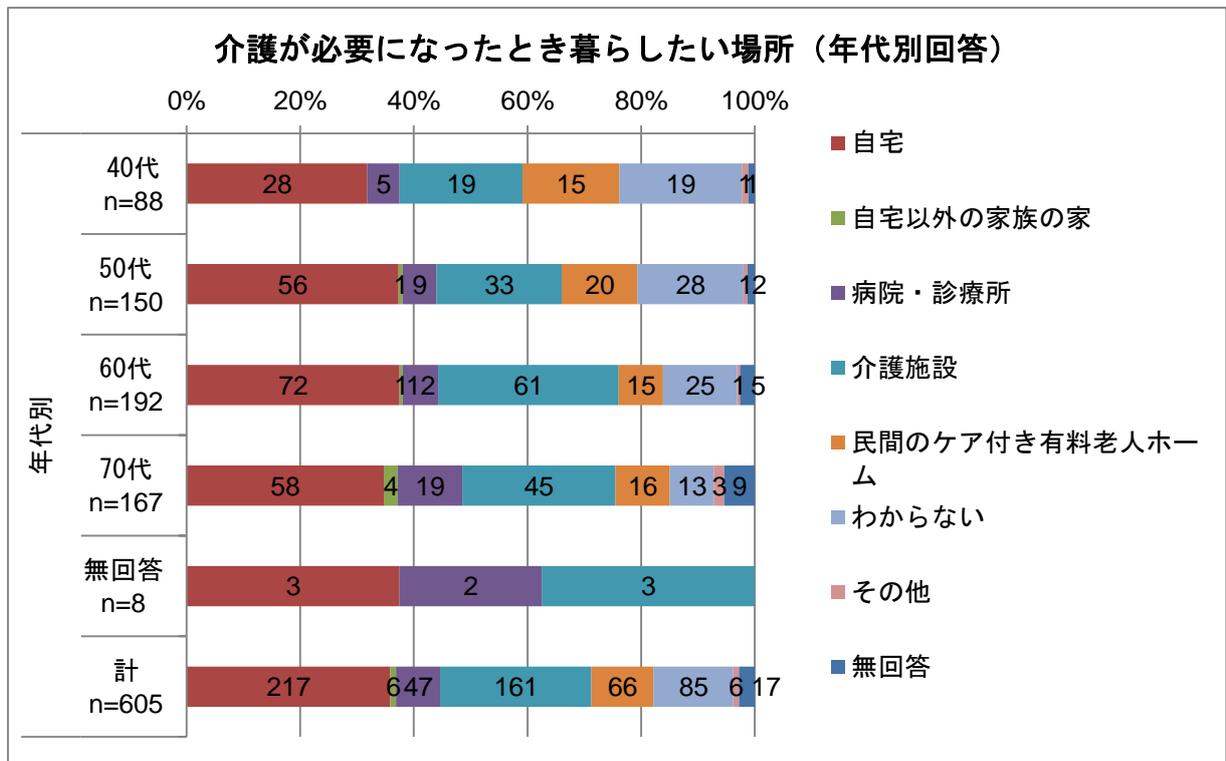
問11 あなたは何ができなくなったときに介護が必要になると思いますか。(〇は3つまで)



何ができなくなったら介護が必要になると思うかについては、男女とも「食事・排泄・入浴」、「歩行や移動」、「ものごとの判断」の順となっている。

問 12 あなたが高齢になって、医療と介護の手助けが必要になったとき、どこで暮らしたいと思いますか。(〇は1つ)

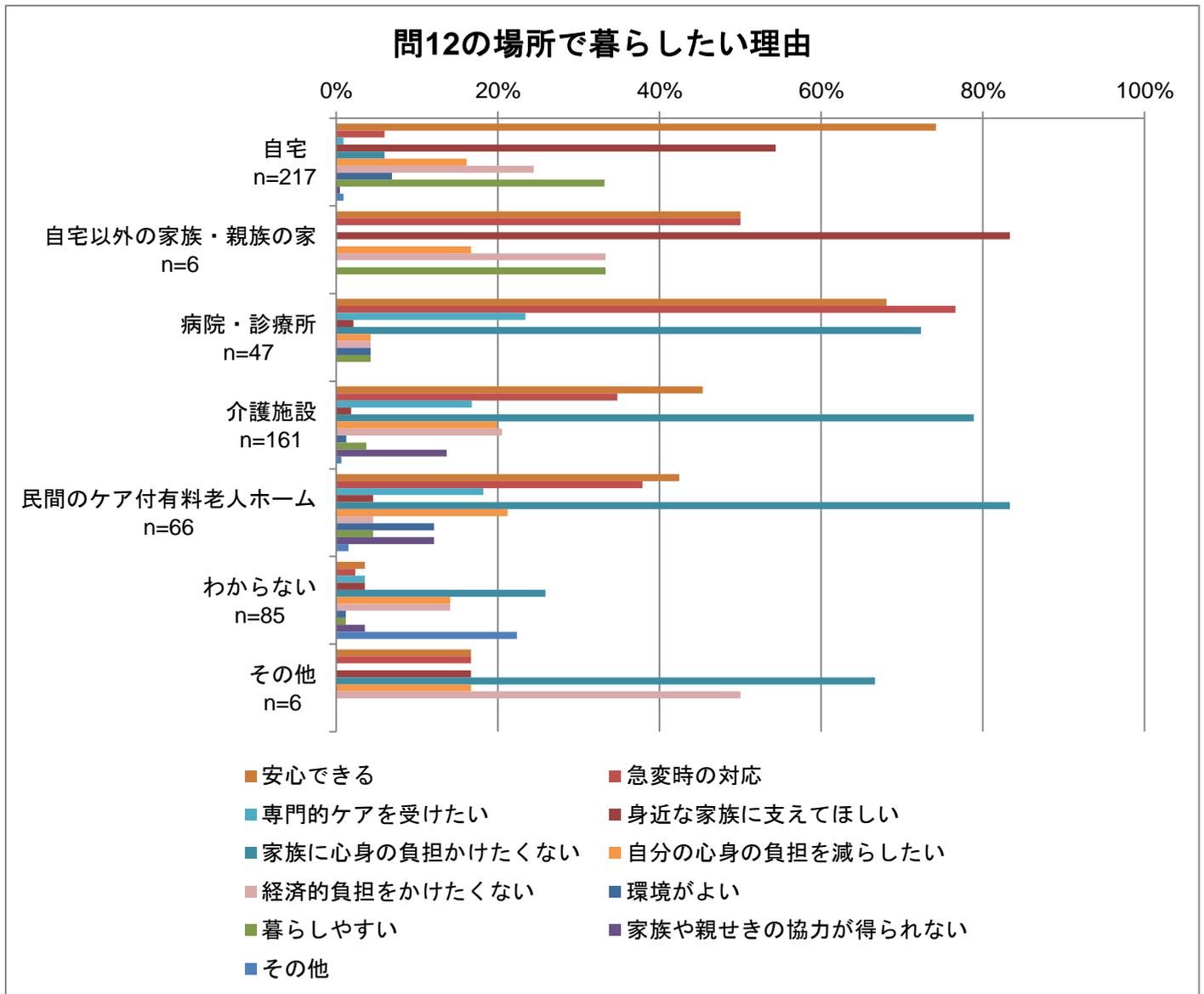




高齢になって医療と介護の手助けが必要になったとき、どこで暮らしたいと思うかについては、男性では43.1%が自宅と答えた一方、女性は自宅30.4%、介護施設29.5%という結果であった。

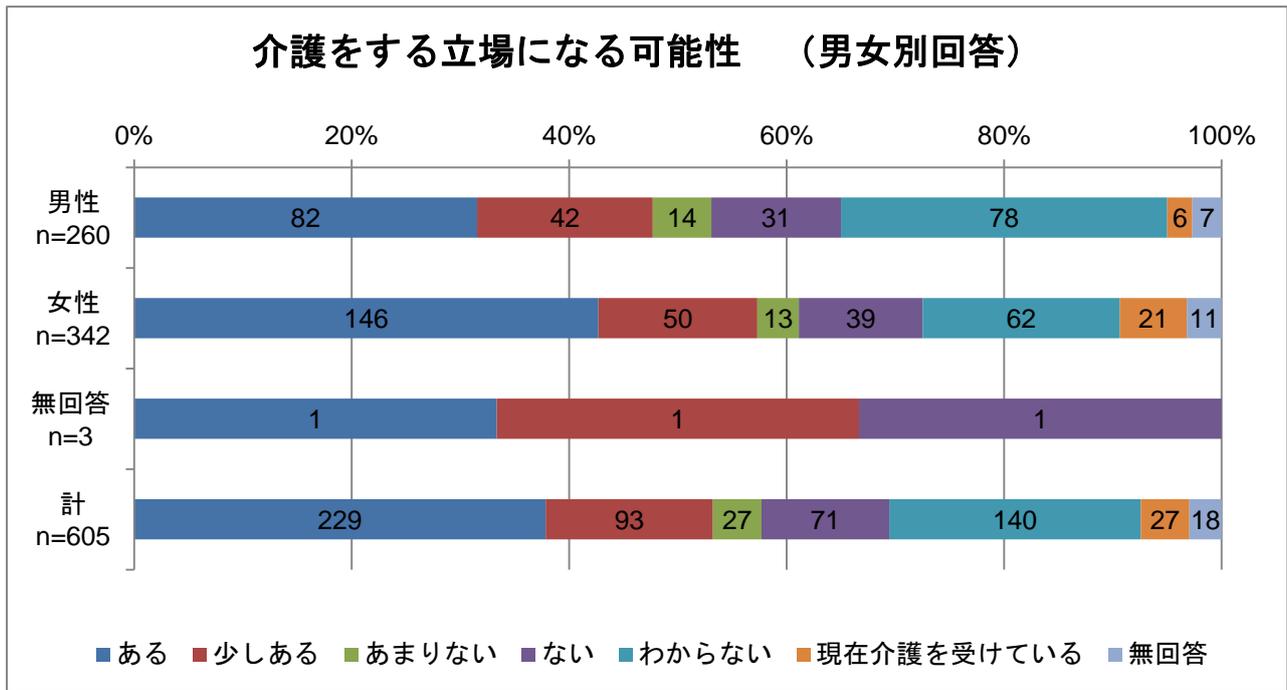
地域別では、自宅と答えた割合は伊里が最も高かった。家族構成別では、同居家族がいる世帯では3分の1以上が自宅を選択している一方、単身では自宅21.2%、介護施設19.2%であり、わからないとの回答も25.0%を占めている。

問 13 問 12 で選択をした理由は何ですか。(〇は 3 つまで)



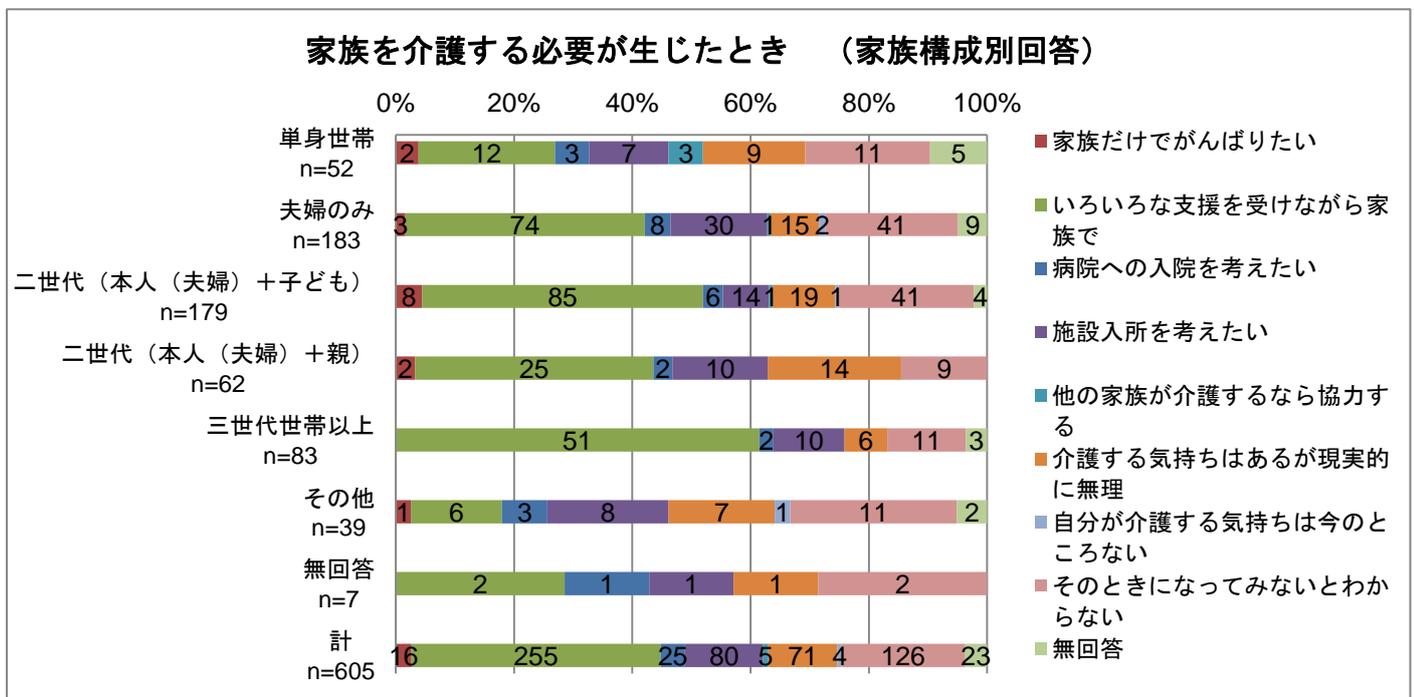
問 12 の暮らしたい場所として選択した理由について、自宅を選んだ理由は「安心できる」、「身近な家族に支えてほしい」、「暮らしやすい」などで、病院・診療所を選んだ理由では「急変時の対応」が最も多かった。また、自宅以外の施設を選んだ理由としては、「家族に負担をかけたくない」が多かった。なお、「安心できる」の選択肢については、自宅では「安らぎ」、病院・診療所では「急変時の安心」という視点から選択されたものと思われる。

問 14 あなたが、介護する立場になる可能性はありますか（○は1つ）



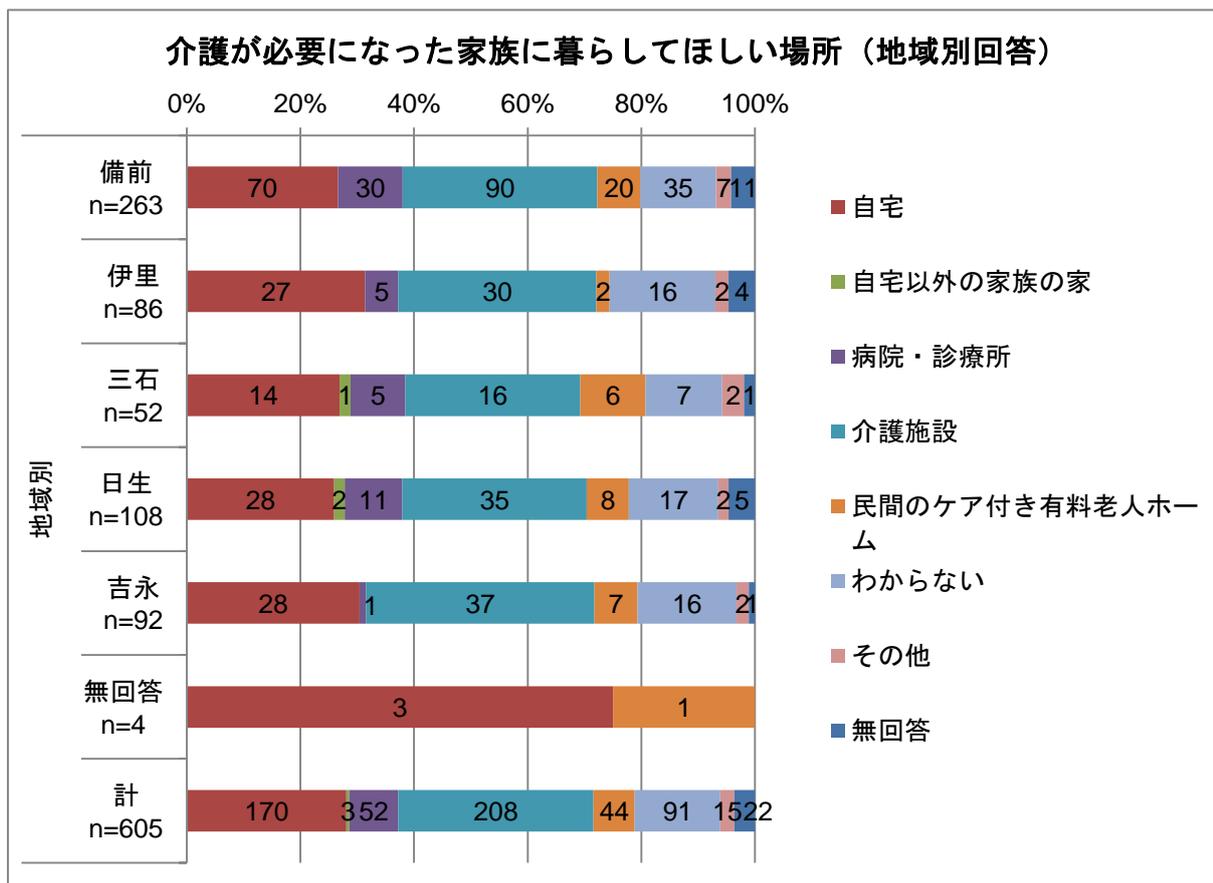
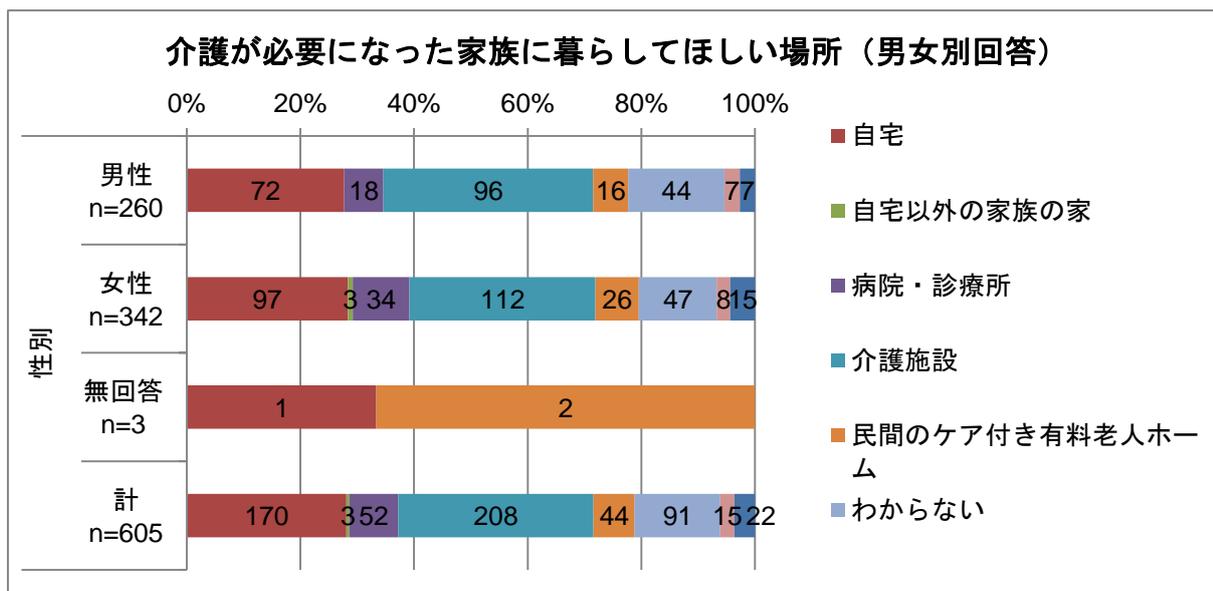
介護をする立場になる可能性について、「ある」と答えた割合は、女性が男性を11ポイント上回っている。

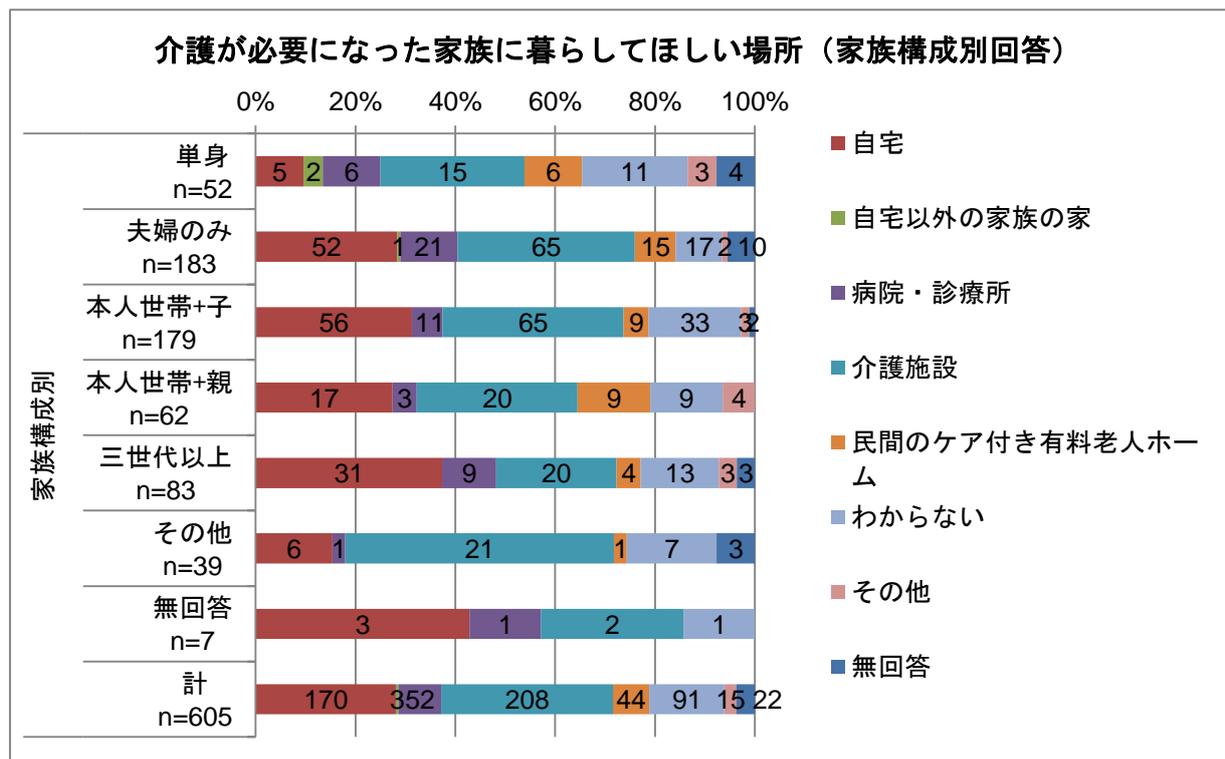
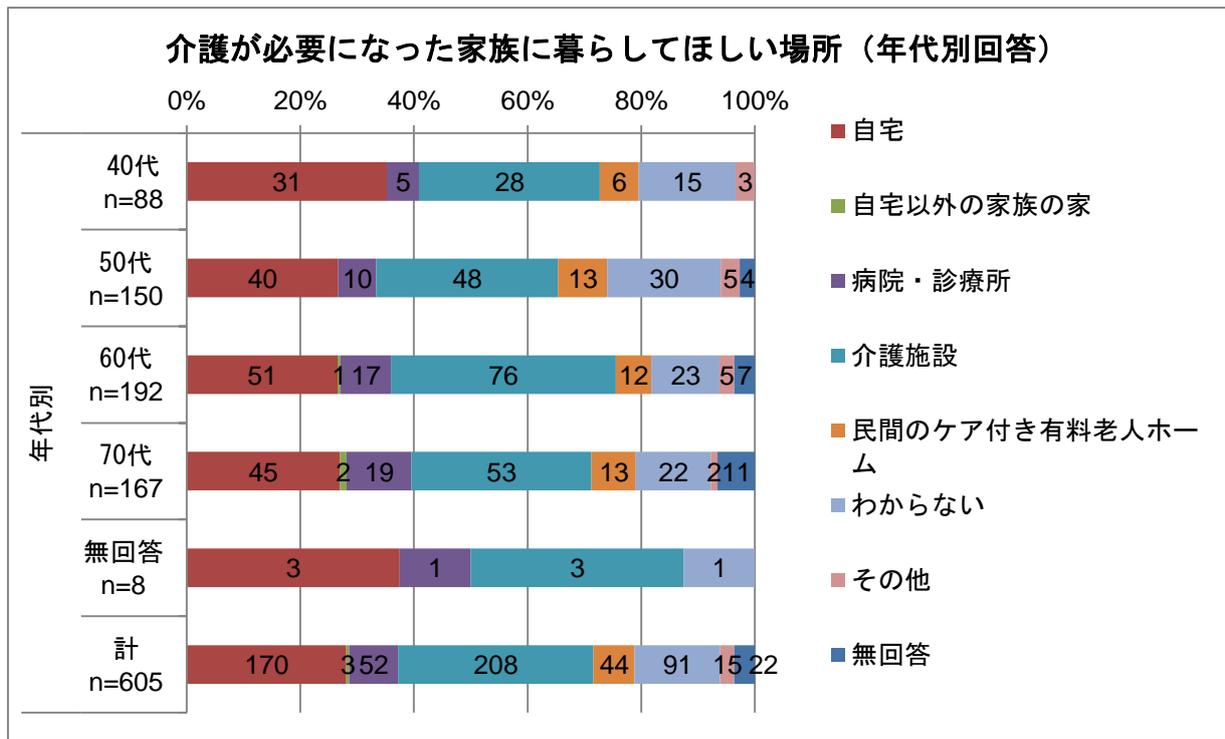
問 15 家族を介護する必要が生じたとき、介護に対するあなたの考えに最も近いものはどれですか。（○は1つ）



家族を介護する必要が生じたときの考えについては、その他を除く各家族構成とも「いろいろな支援を受けながら家族で」の回答が最も多く、子どものいる二世帯世帯や三世帯以上世帯でその割合は高くなっている。また、単身世帯、夫婦世帯及び親のいる二世帯世帯では「施設入所を考えたい」の割合が高くなっている。さらに親と同居の二世帯世帯では、「そのときになってみないとわからない」が低い一方、「施設入所を考えたい」や「介護が現実的に無理」との回答割合が高くなっている。

問 16 家族が高齢になって、医療と介護の手助けが必要になったとき、どこで暮らしてもらいたいですか。(〇は1つ)

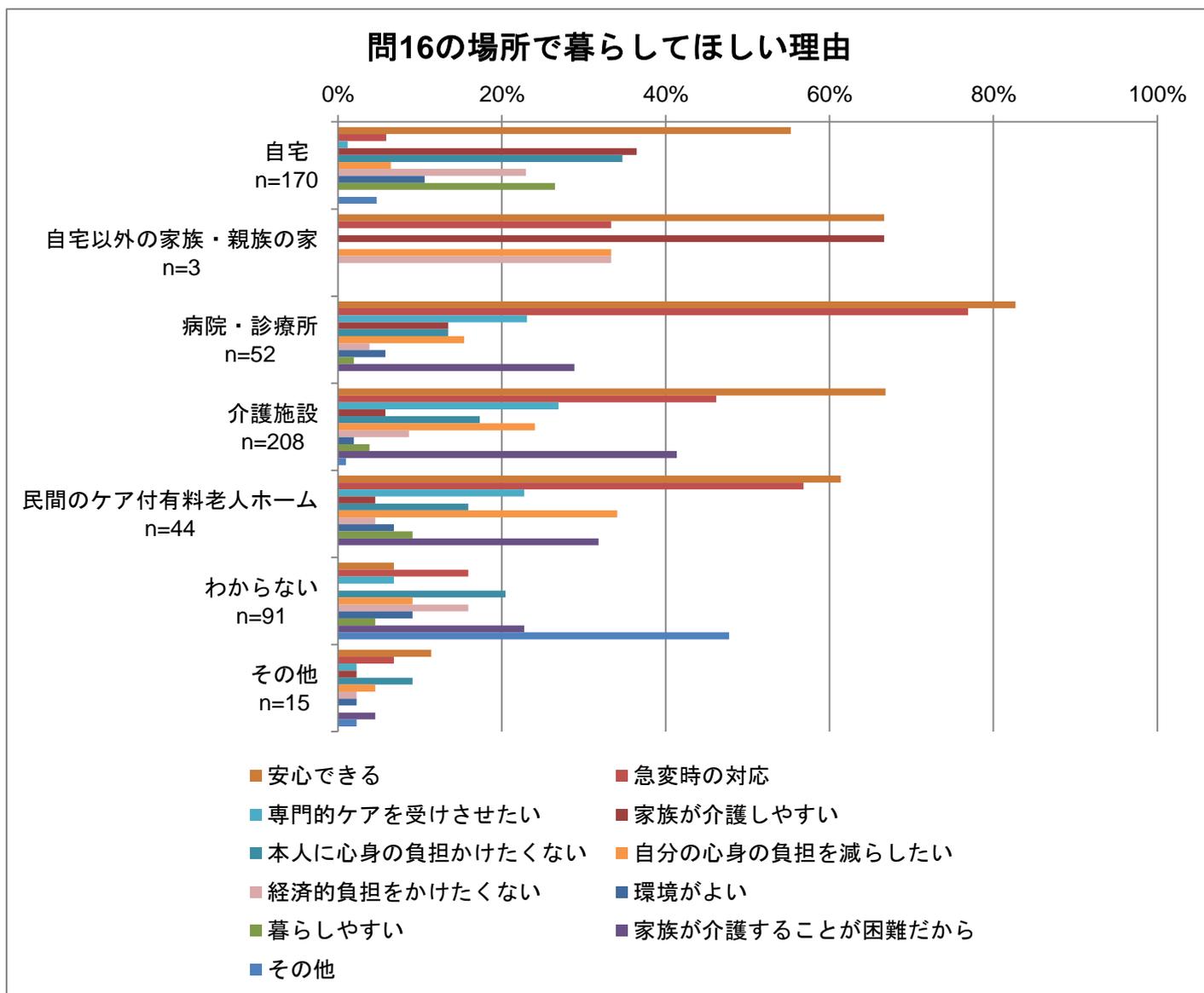




介護が必要になった家族に暮らしてほしい場所については、介護施設を選択した割合が最も高く、次いで自宅、病院・診療所の順となっている。

自宅で暮らしてほしいと考えるのは、年代別では40代が最も多く、家族構成別では子どものいる二世帯世帯や三世代以上世帯など世帯員が多いほど「自宅」の回答割合が高くなっている。また地域別では伊里が31.4%と最も高くなっている。

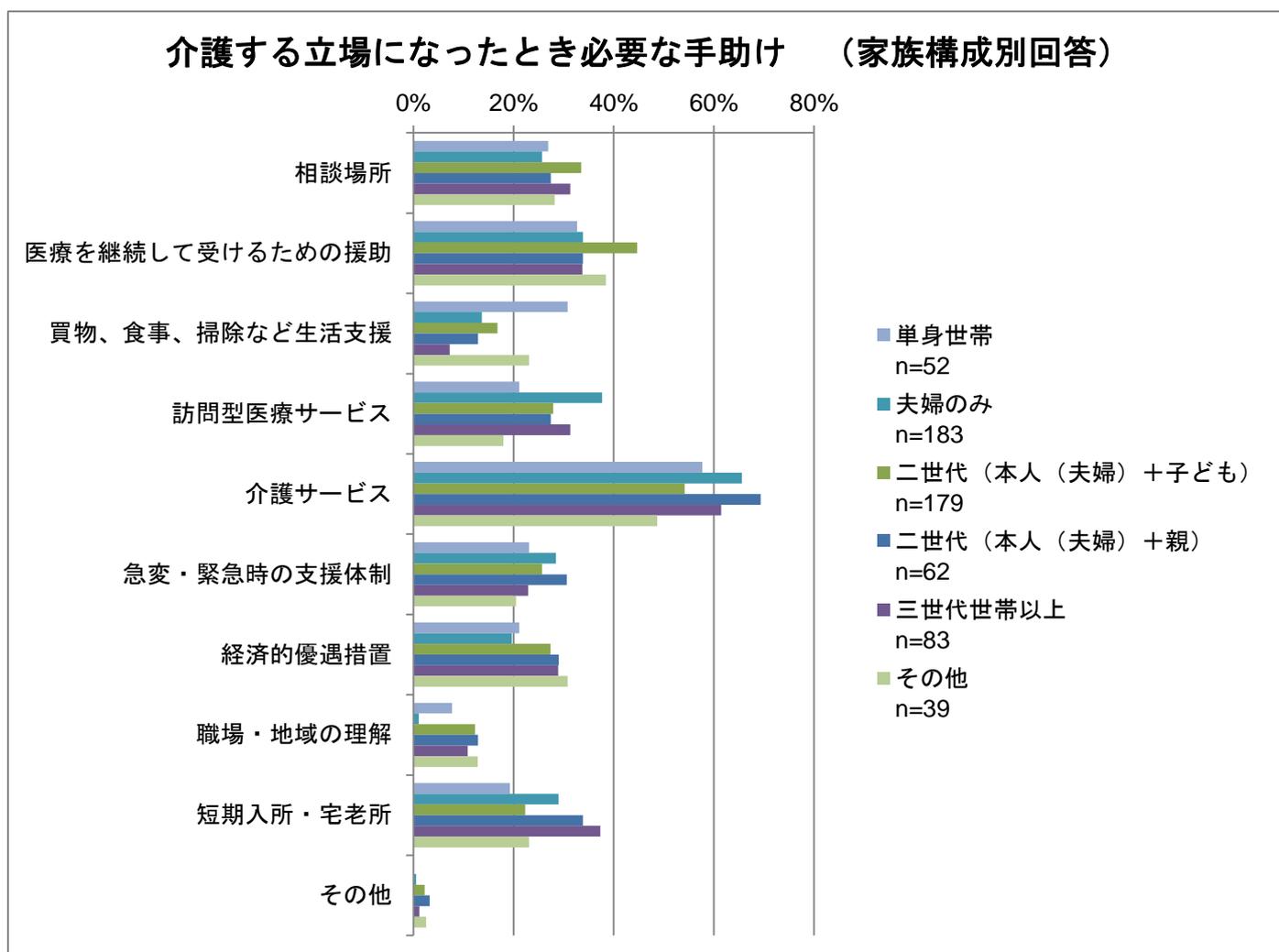
問 17 問 16 で選択をした理由は何ですか。(〇は 3 つまで)



問 16 の暮らしてほしい場所として選択した理由について、自宅を選んだ理由は「安心できる」、「家族が介護しやすい」などで、病院・診療所、介護施設、有料老人ホーム等の施設を選んだ理由としては「安心できる」、「急変時の対応」が多くなっている。

問 18 あなたが家族を介護する立場になったとき、どのような手助けが必要だと思いますか。

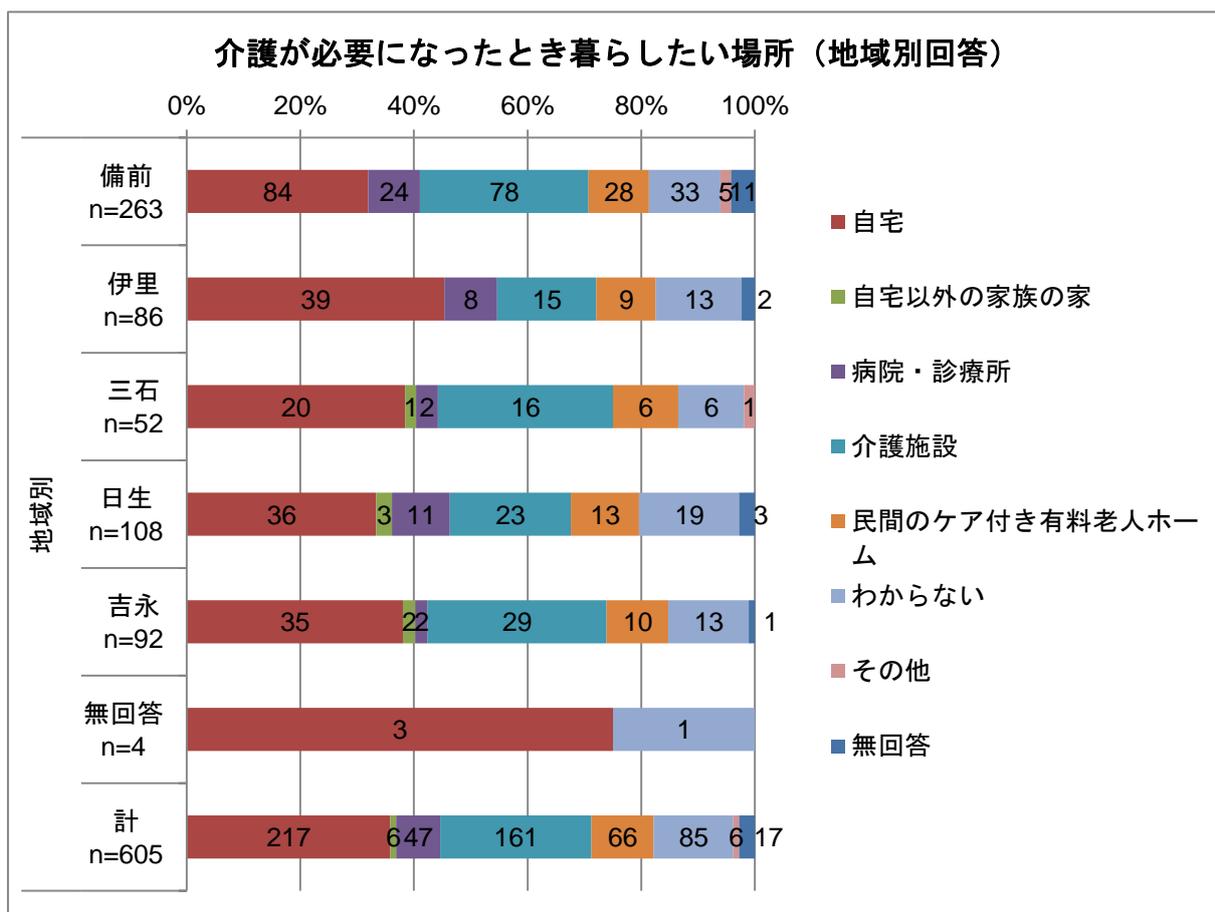
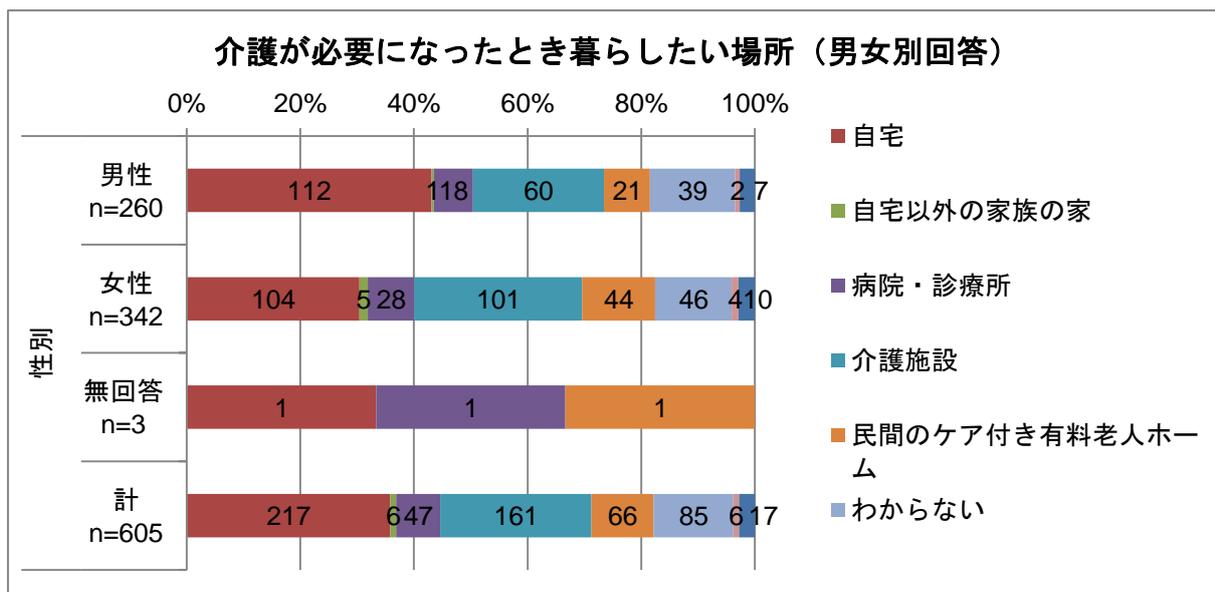
(〇は3つまで)

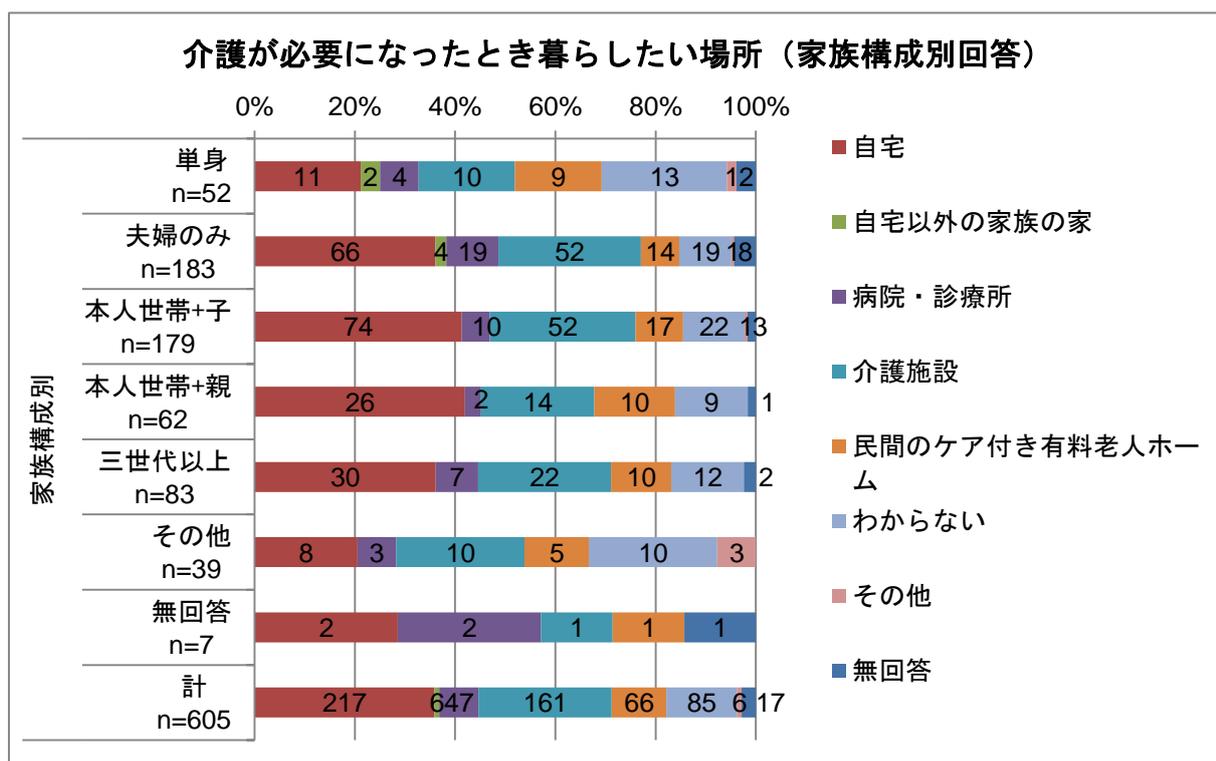
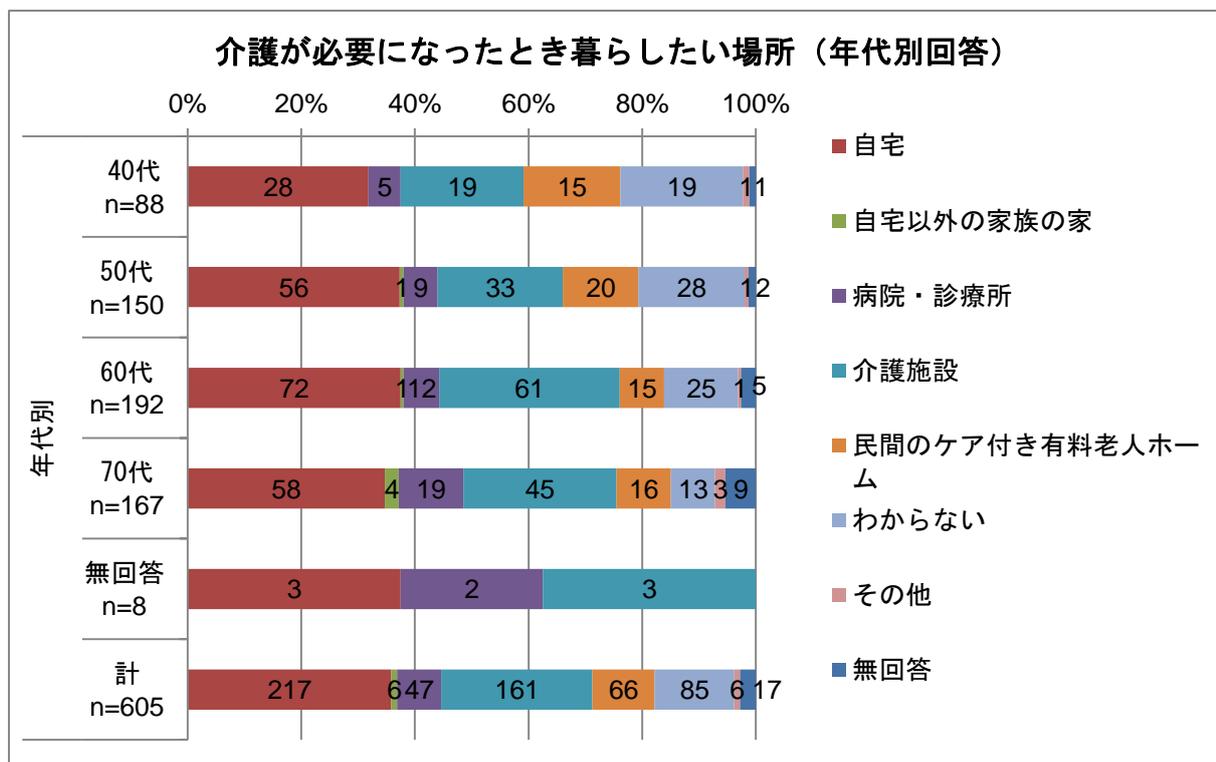


家族を介護する立場になったとき必要とする手助けについては、家族構成にかかわらず「介護サービス」の回答割合が高かった。また、単身世帯では買物、食事、掃除などの生活支援、夫婦のみの世帯では訪問型医療サービスの割合が高くなっている。

IV 終末期（治る見込みがなく死期が迫ってきているとき）について

問 19 終末期にあなたはどこで最期を迎えたいですか。（○は1つ）



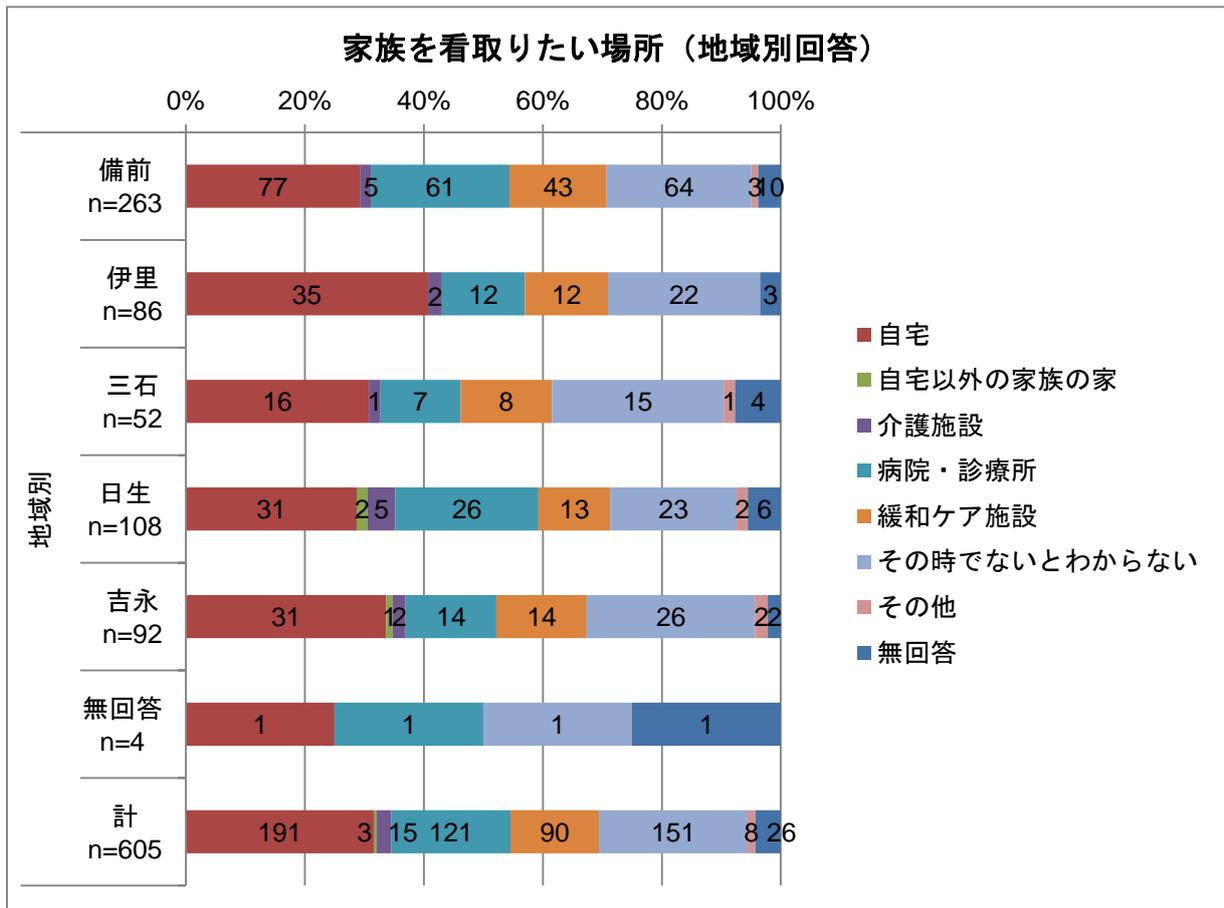
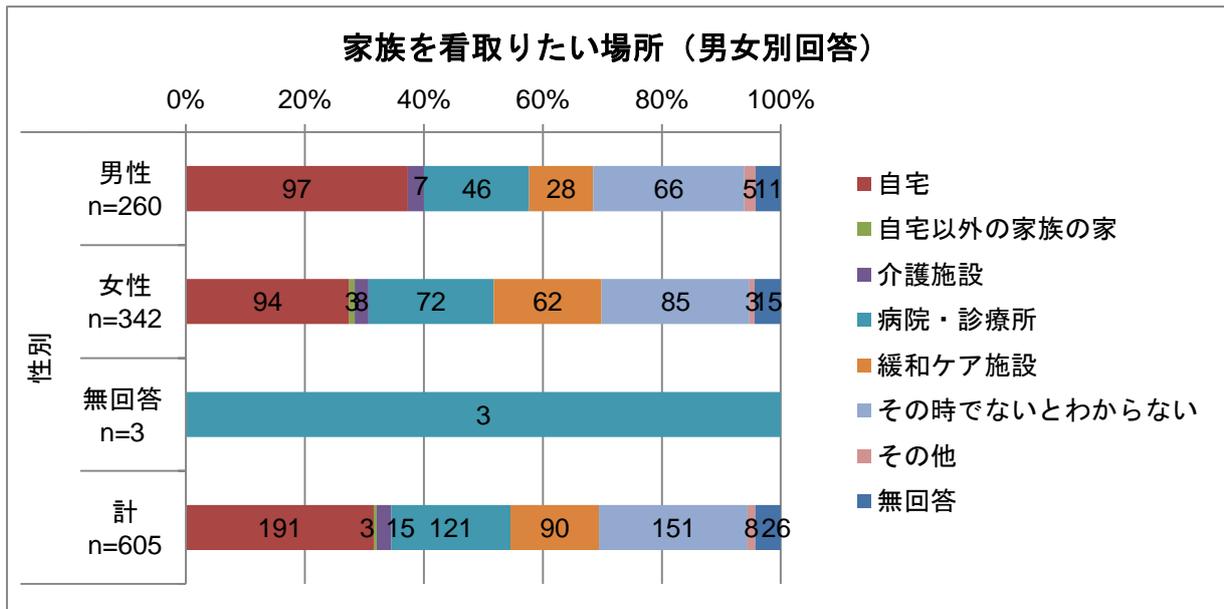


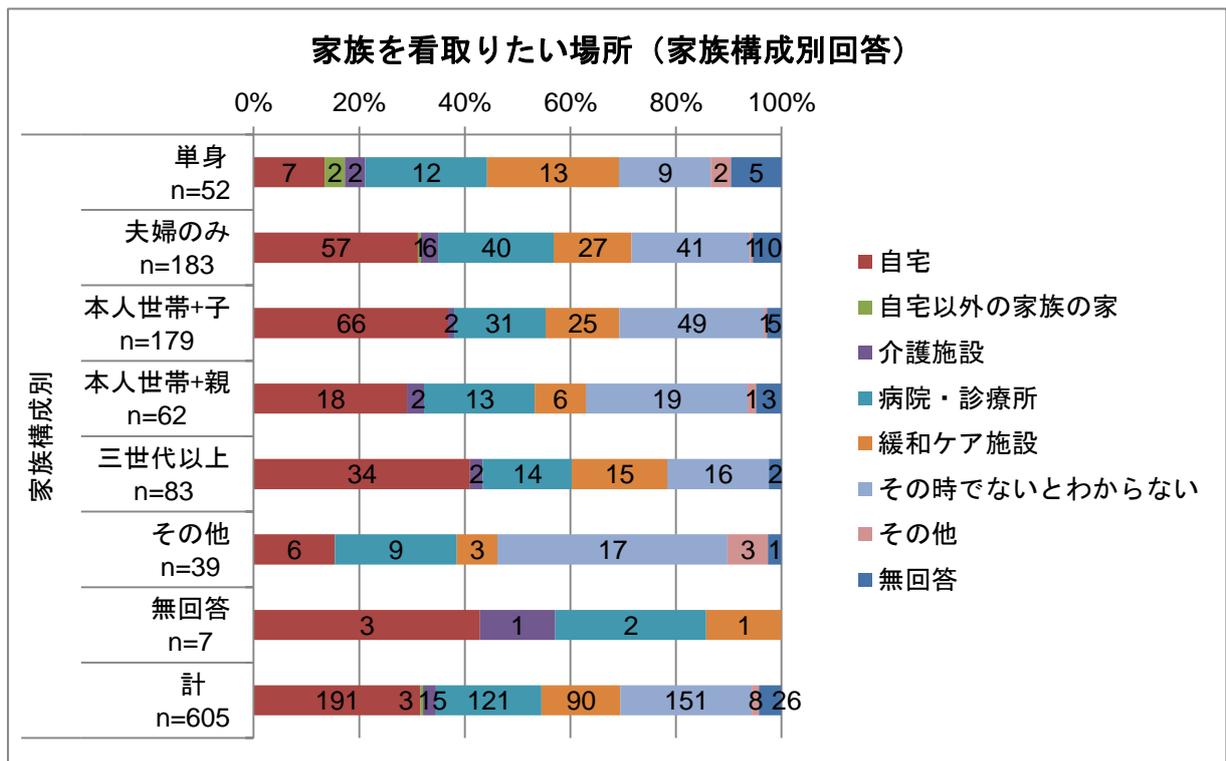
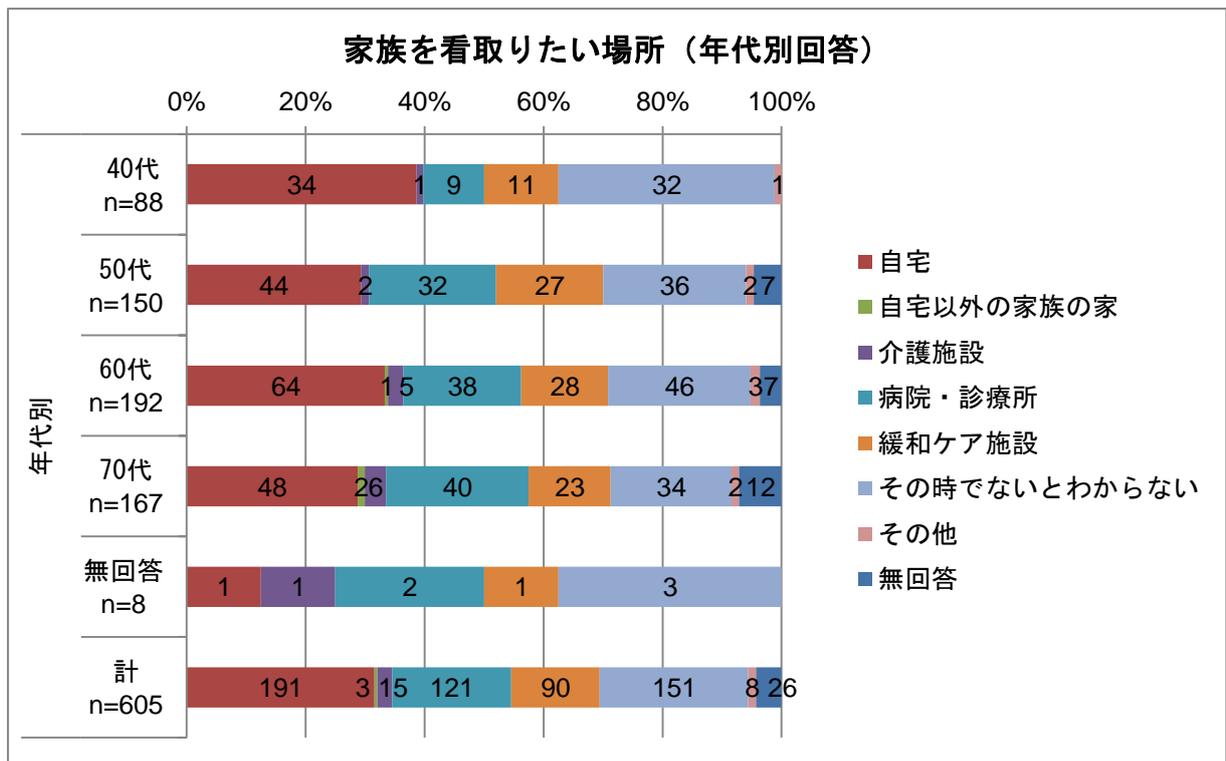
最期を迎えたい場所については、男性では 39.2%が自宅と答えた一方、女性では自宅が 24.6%、緩和ケア施設が 25.4%、病院・診療所は男女とも 15.8%という結果であった。

地域別では、自宅と答えた割合が最も高かったのは伊里の 39.5%で、最も低い三石（21.2%）とは 18ポイント以上の差があった。

年代別では、高年齢ほど「病院・診療所」の割合が高くなっており、家族構成別では、世帯員が多いと考えられる本人世帯+子、三世代以上で自宅の割合が高くなっている。

問 20 あなたはご家族の最期をどこで看取りたいですか。(○は1つ)



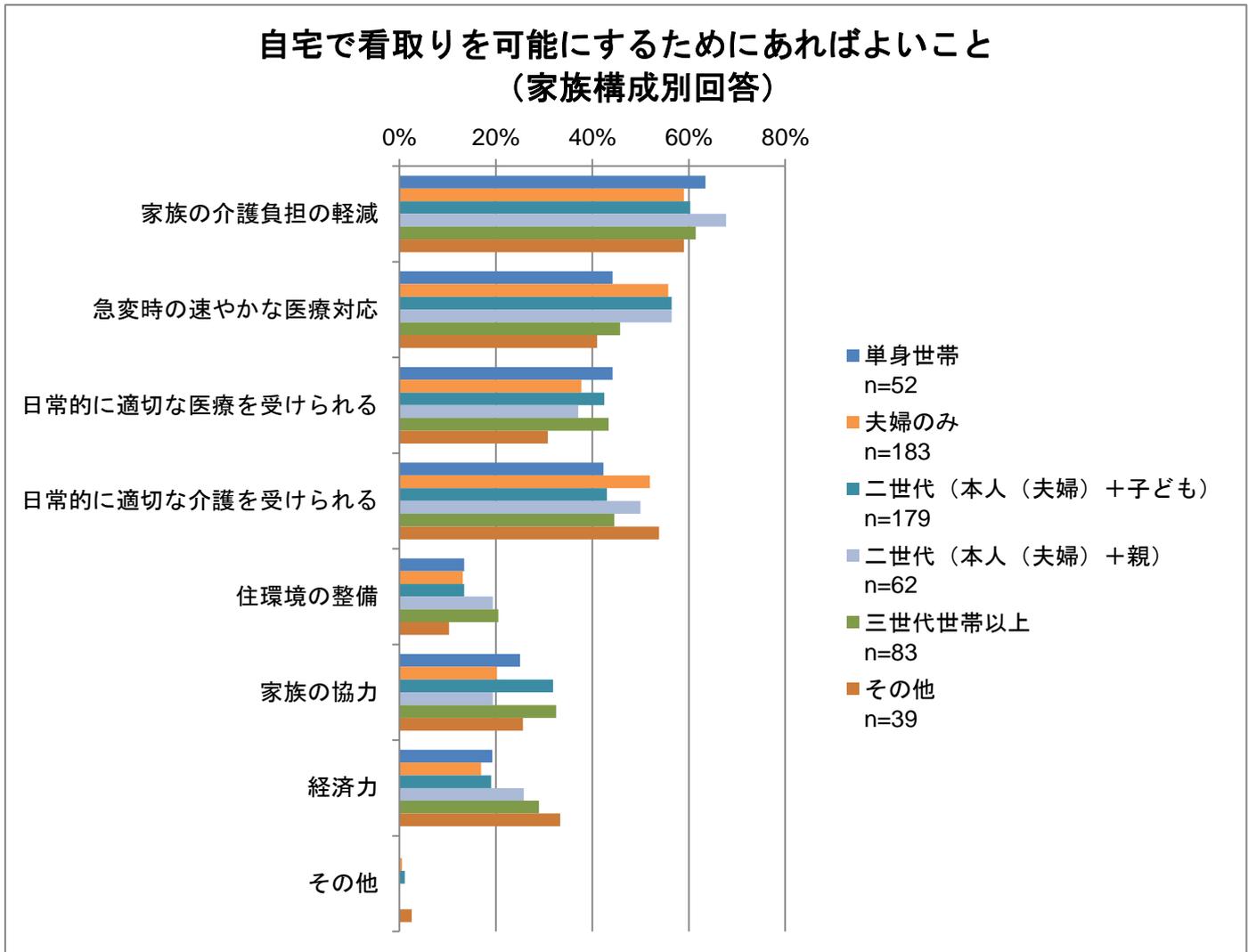


家族をどこで看取りたいかについて、自宅を選んだのは男性 37.3%、女性 27.5%で、男性が女性を 9.8 ポイント上回った一方、「病院・診療所」及び「緩和ケア施設」はともに女性が男性を上回っている。

地域別では、「自宅」と答えた割合が最も高かったのは伊里の 40.7%で、最も低かった日生 (28.7%) とは 12 ポイントの差があった。

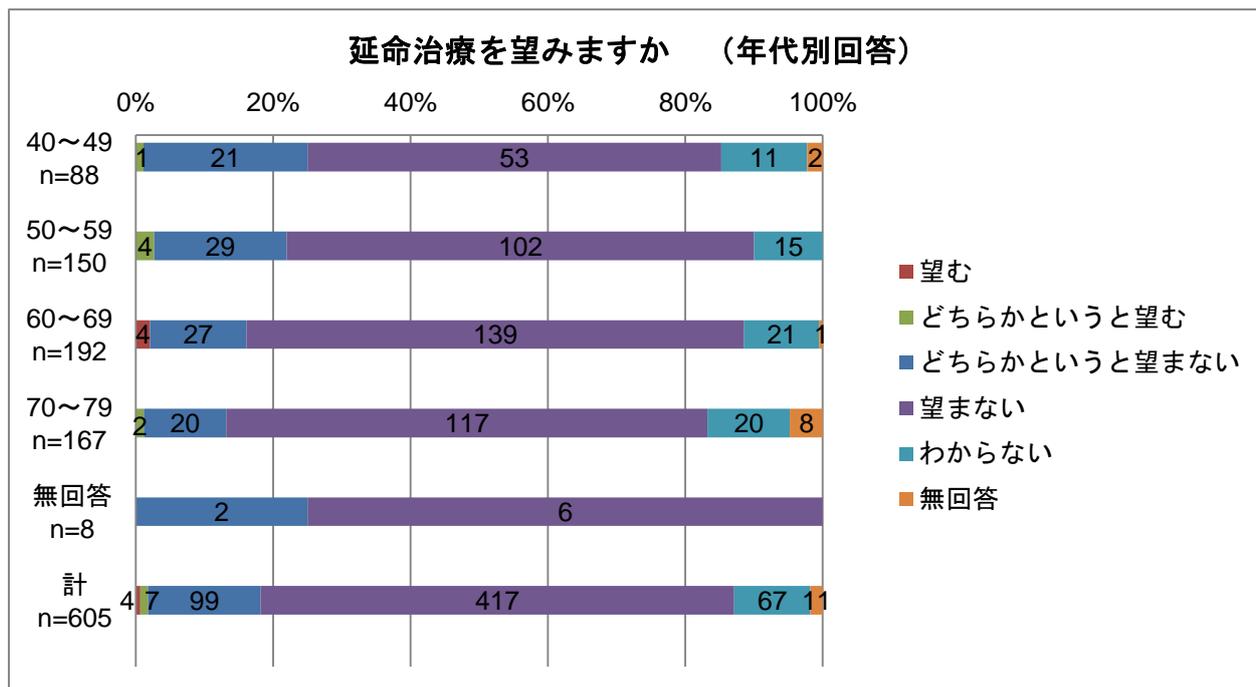
家族構成別では、世帯員が多いと考えられる本人世帯+子、三世代以上で自宅の割合が高くなっている。

問 21 あなたや家族が、自宅での看取りを可能にするためには、どんなことがあればいいと思いますか。  
 (〇は3つまで)



自宅での看取りを可能にすることとしては、家族構成によらず「家族の介護負担の軽減」が最も多く、急変時の速やかな医療対応や日常的な医療・介護サービスの提供も必要と判断されている。

問 22 もしあなたが治る見込みがなく死期が迫ってきたとき、延命治療（人工呼吸器・胃ろう等）を望みますか。（○は1つ）

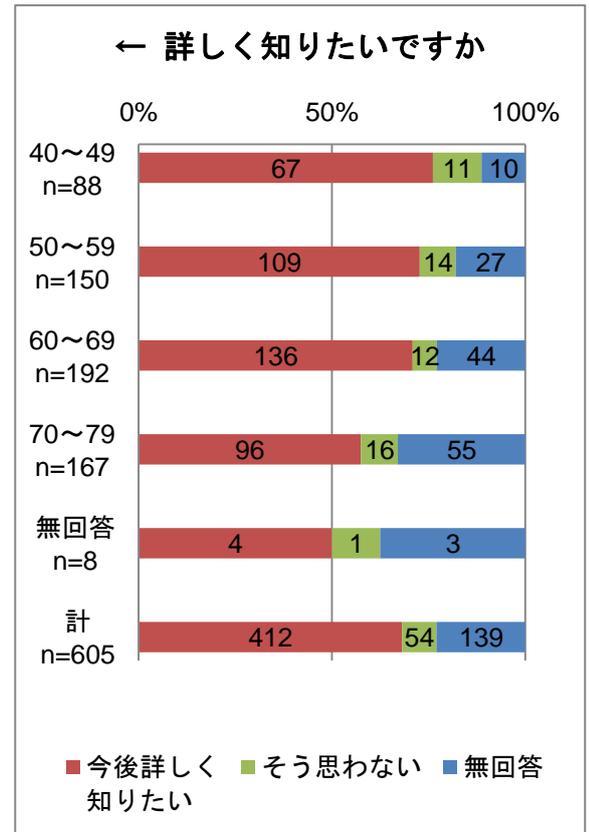
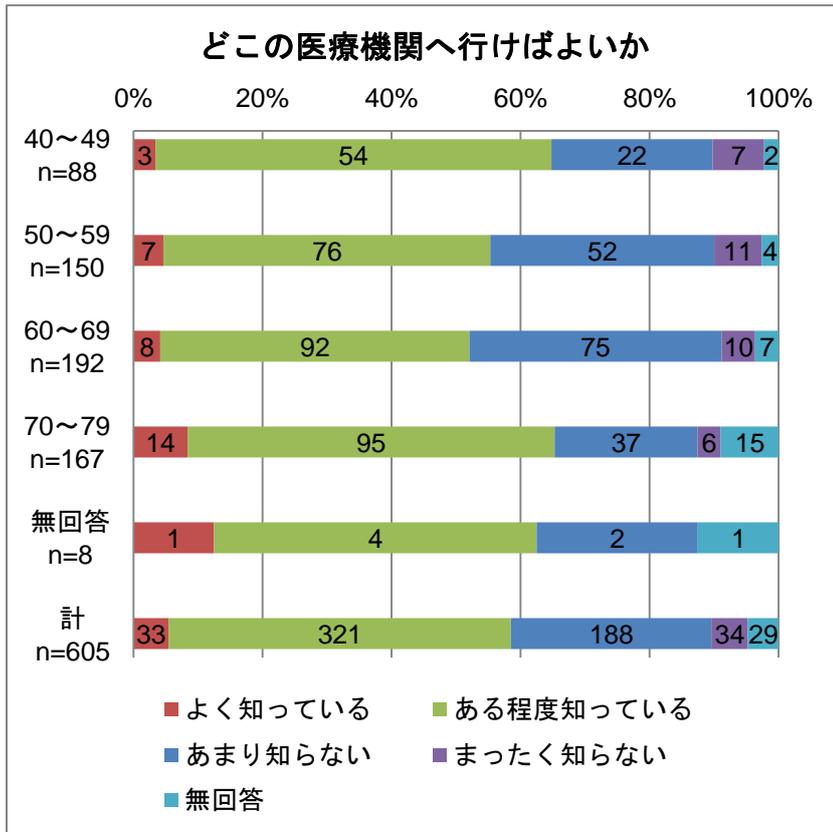


どの年代も「望まない」又は「どちらかという望まない」の回答が全体の80%以上を占めている。また、高年齢層ほど「望まない」の回答割合が高くなっている。

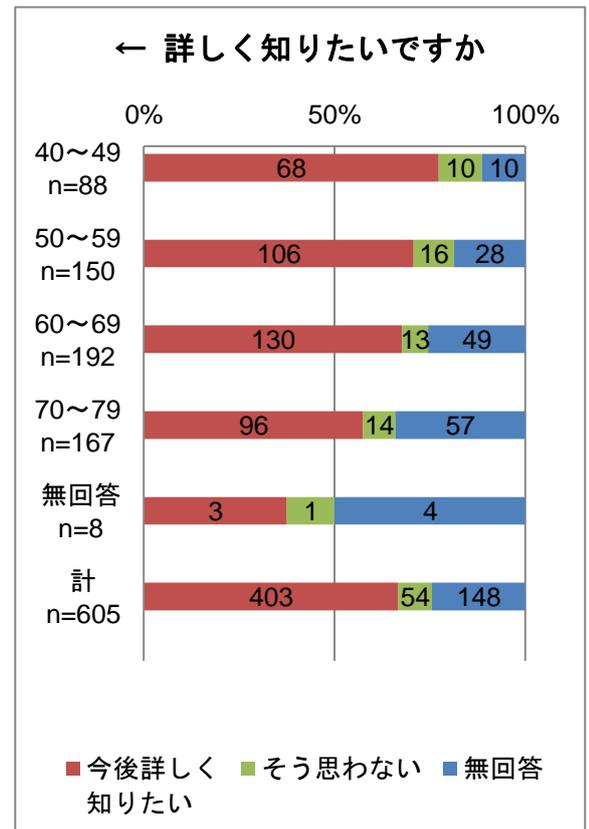
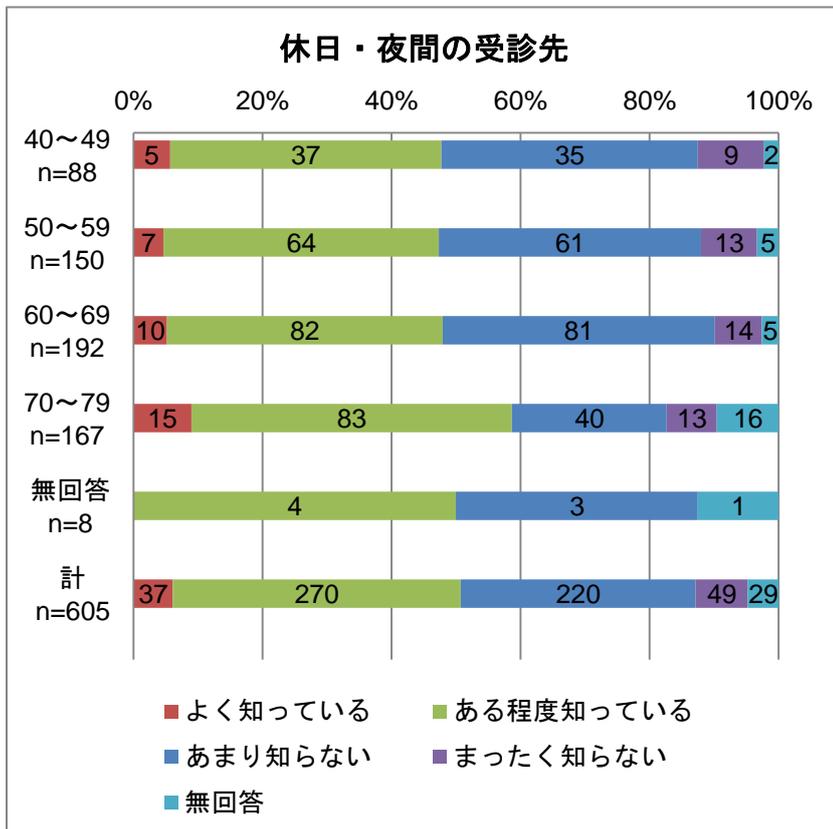
V 医療・介護情報について

問 23 今知っている情報や今後知りたい情報について、該当するものに○をしてください。

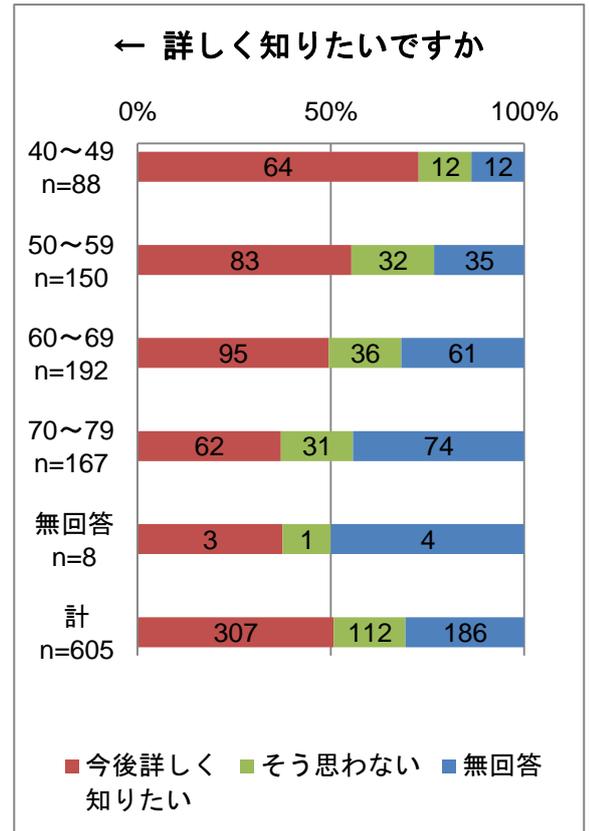
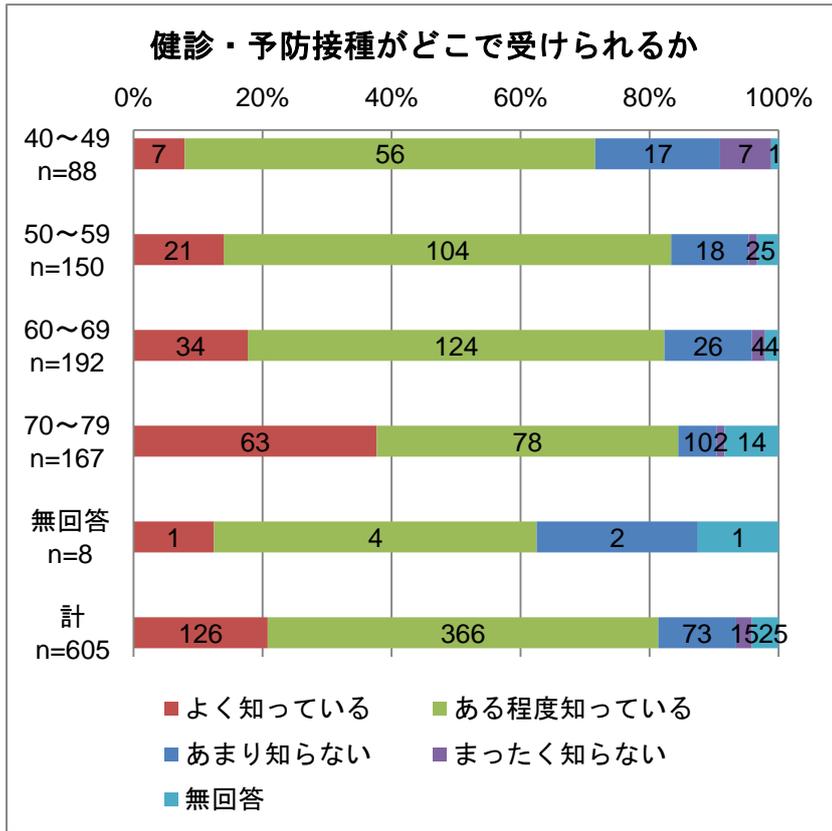
・ どんな症状のとき、どこの病院や診療所にいけばいいか



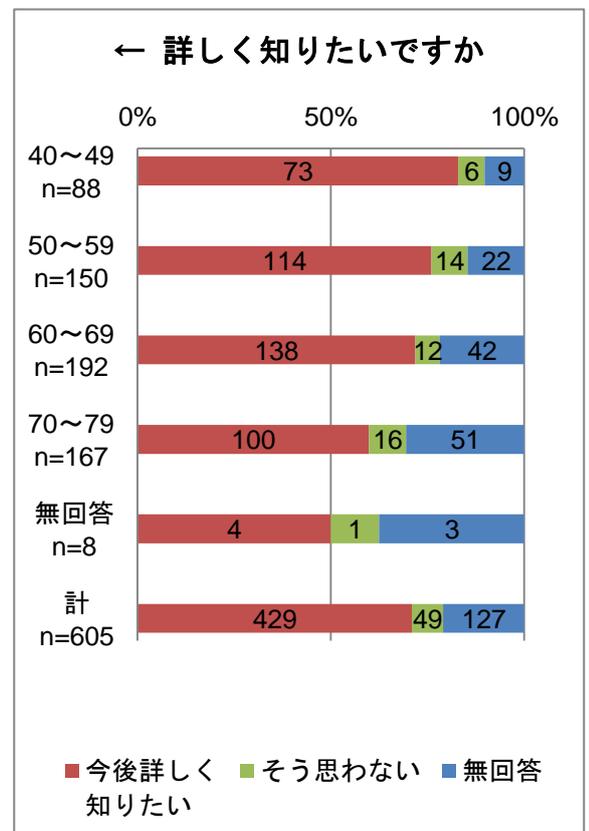
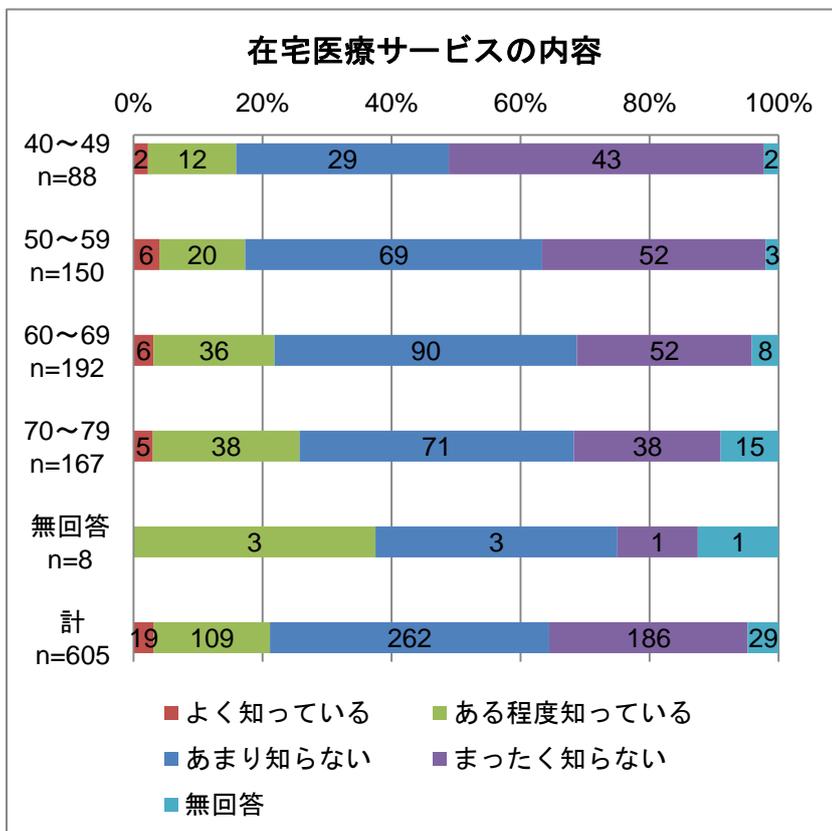
・ 休日や夜間に病気になったとき、どこの病院で受診できるのか



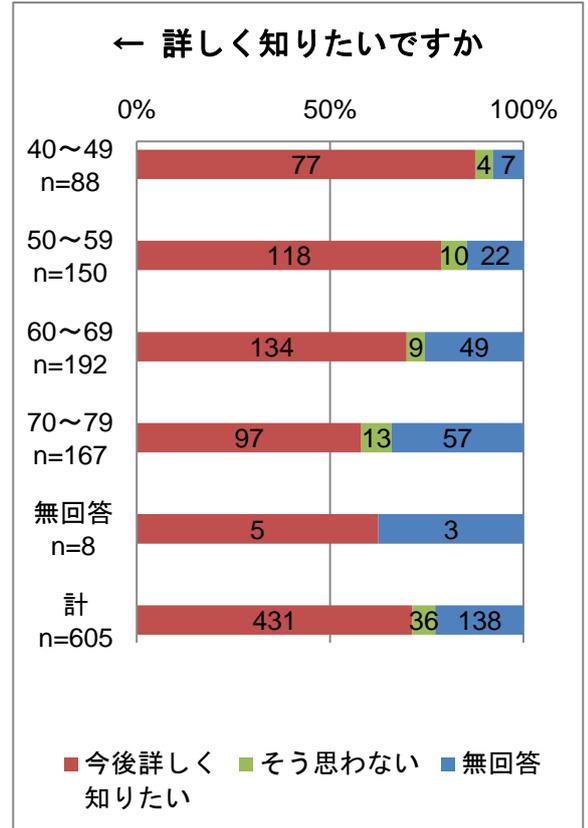
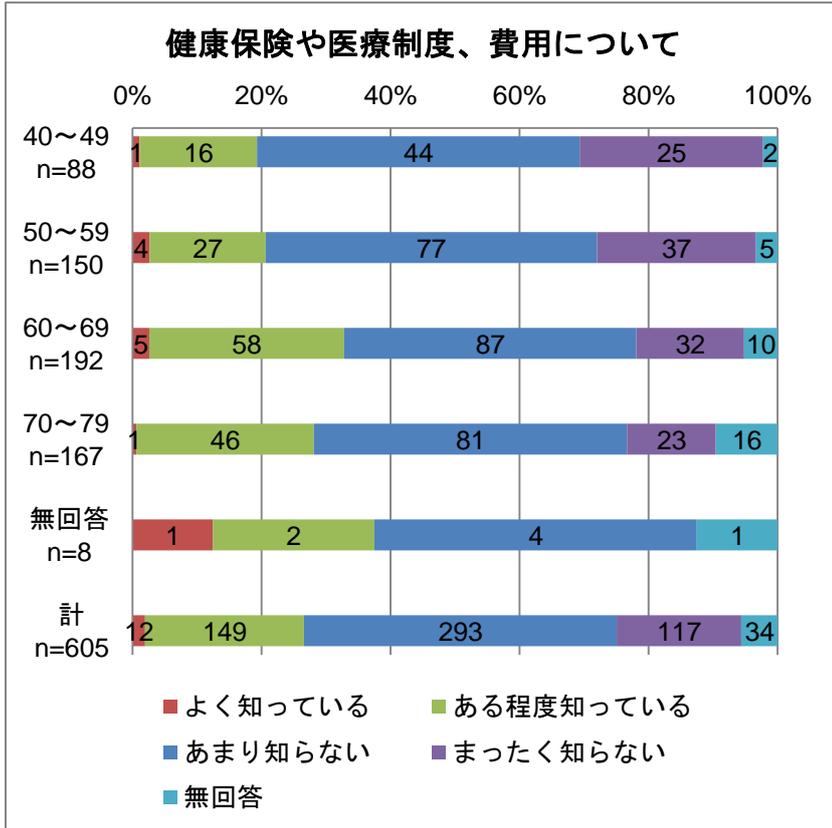
・健診や予防接種などがどこで受けられるか



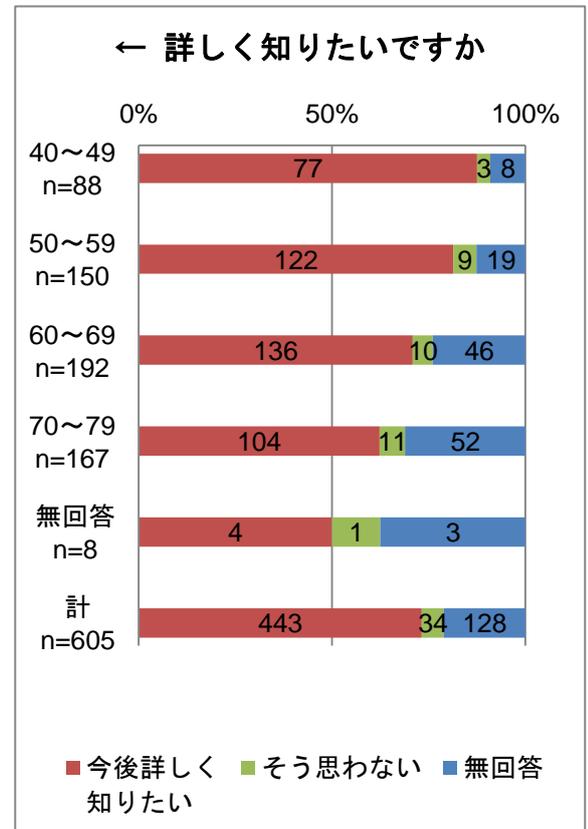
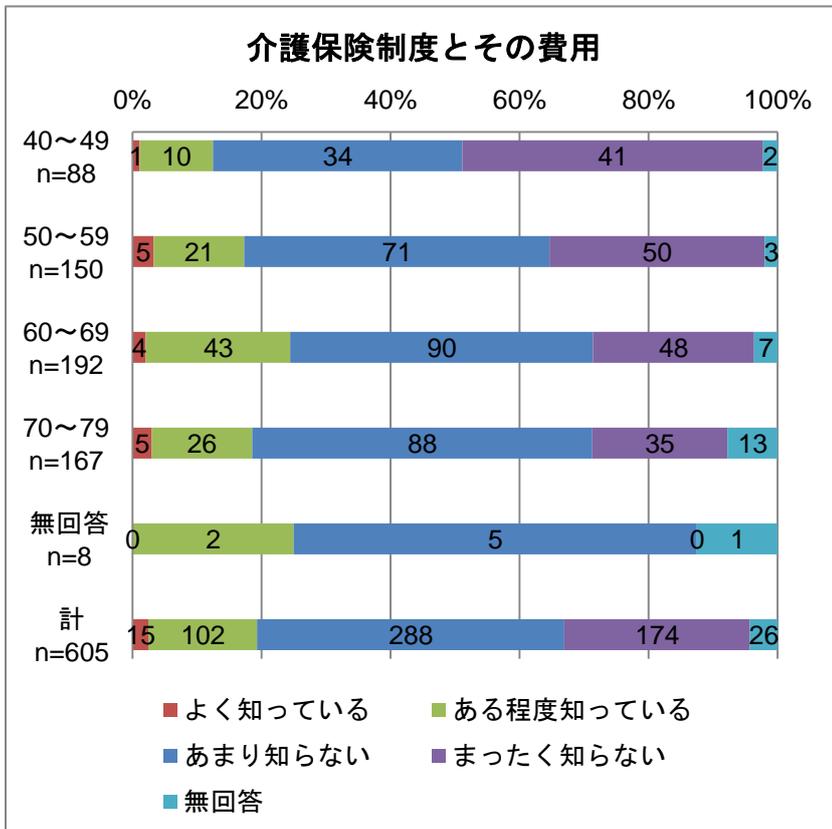
・訪問診療や訪問看護などの在宅医療サービスの内容



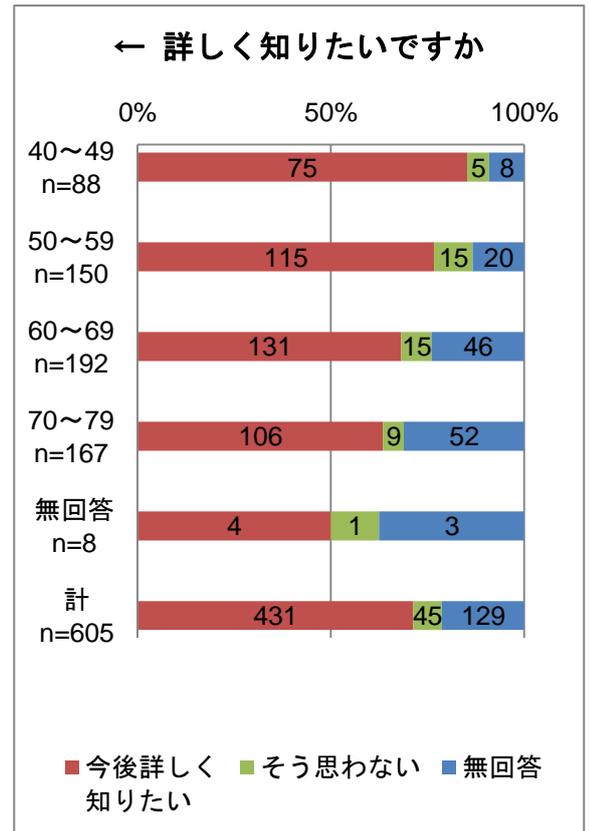
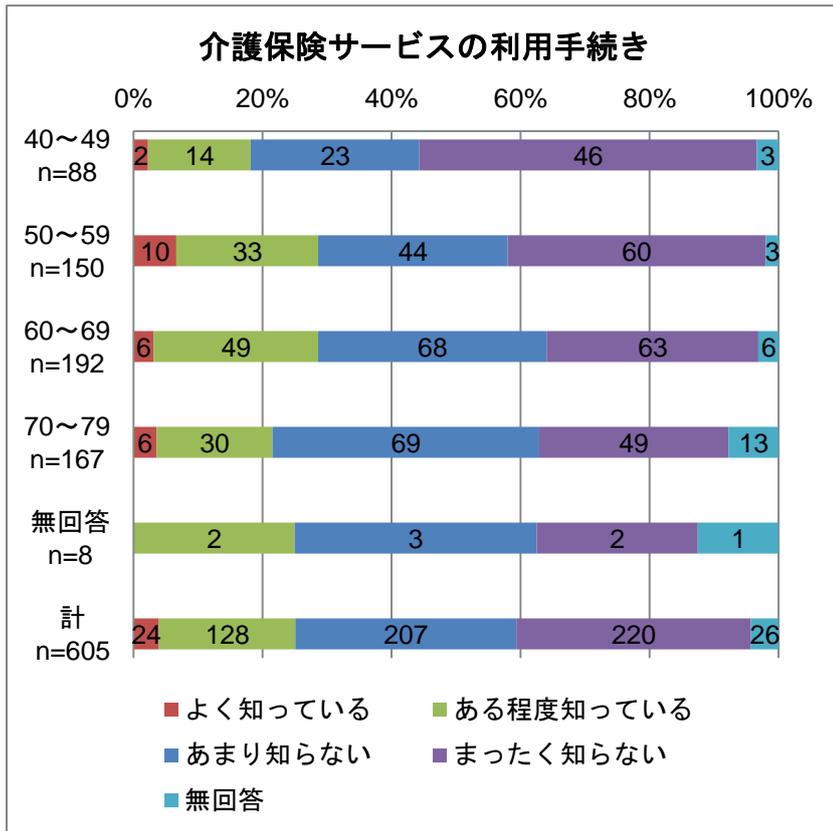
・健康保険や医療制度及びその費用



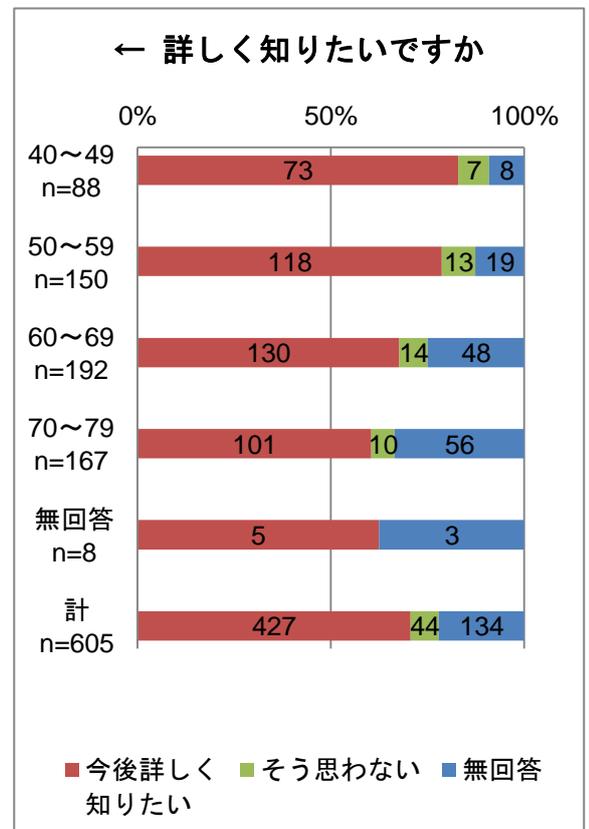
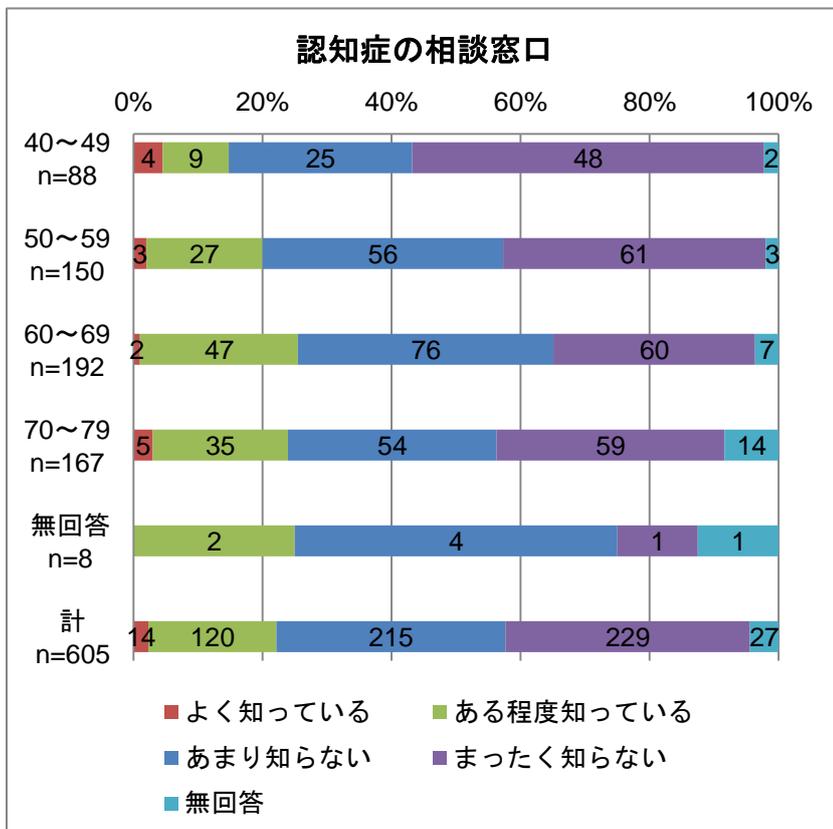
・介護保険制度及びその費用



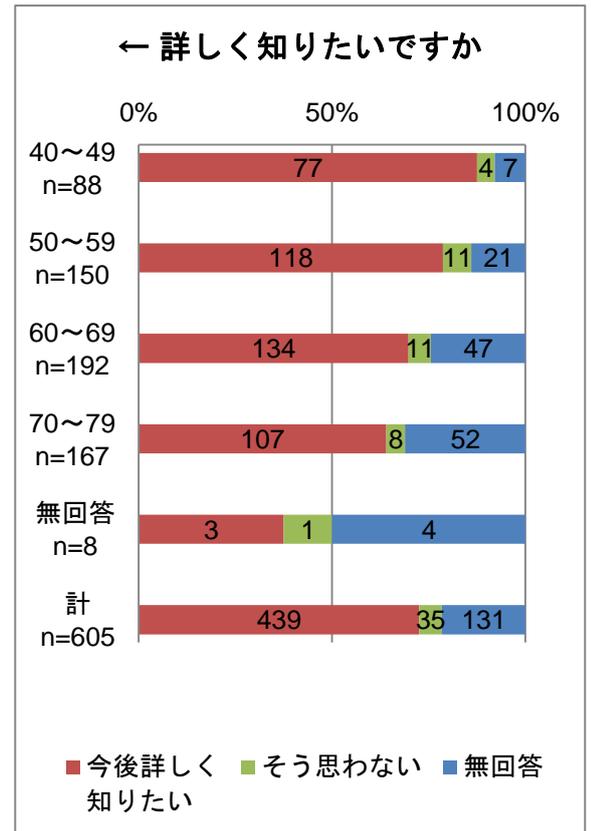
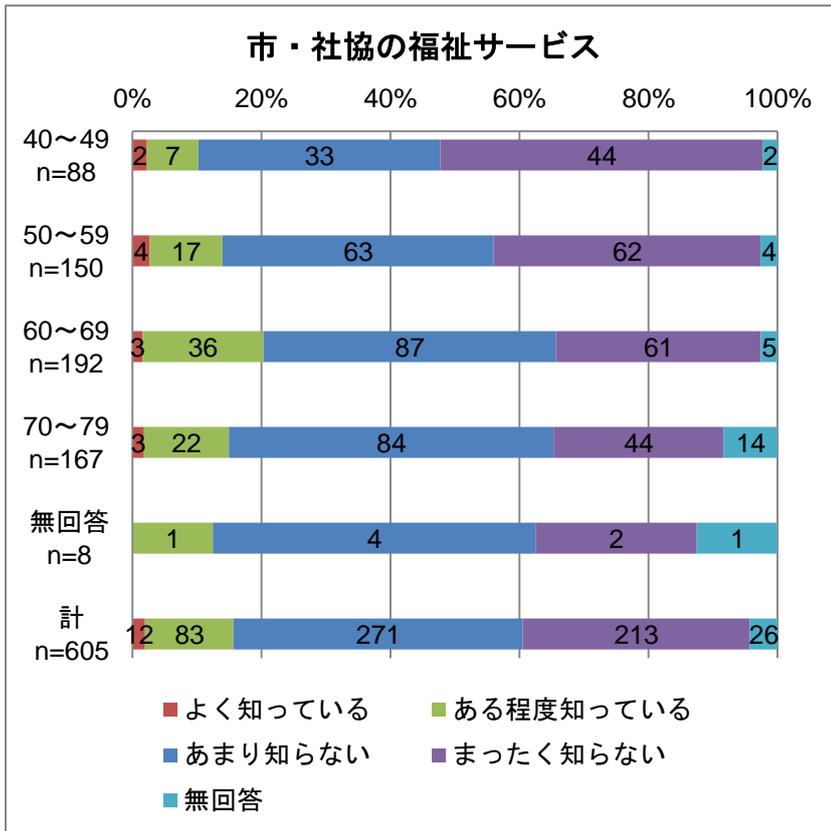
・介護サービス利用の手続きの仕方



・認知症の診断や相談ができる窓口

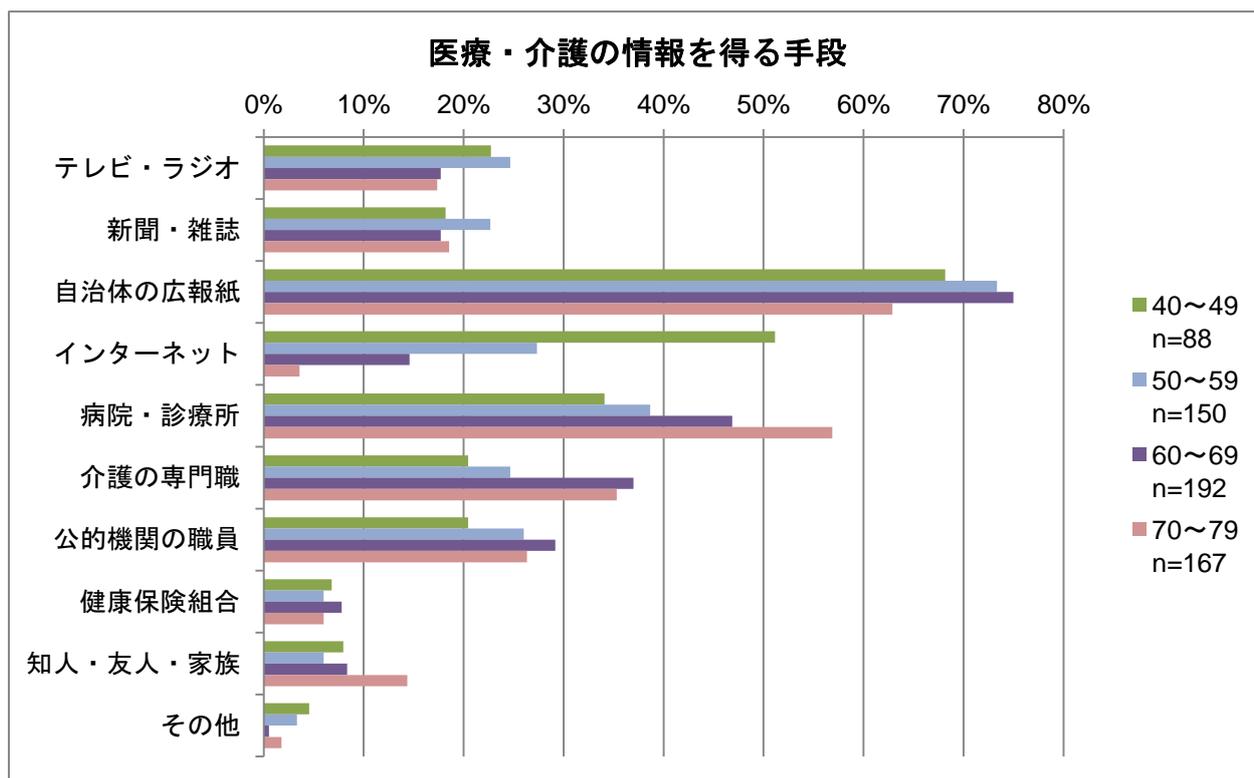


・市や社協が行う福祉サービスの内容



年代を通じて「よく知っている」「ある程度知っている」を合わせた割合（認知度）の高い項目は、「健診や予防接種などがどこで受けられるか」で、高齢層ほど認知度が高かった。また、「休日・夜間の受診先」の認知度は約 50~60%と他の項目に比べて認知度は低くないものの、「今後詳しく知りたい」という回答が多かった。そのほかの項目は、いずれも認知度が低く、特に市・社協の福祉サービスの認知度は 40 代で 10%であったとともに、同項目を今後詳しく知りたいとの回答が 40 代で 87.5%であったことから、若年層を中心に医療、介護等に関する情報の提供を丁寧に行う必要があると思われる。

問 24 今後、どんな方法で医療や介護の情報を得たいですか。(〇は3つまで)



年代を問わず、自治体の広報誌から医療や介護の情報を得たいという回答が最も多く、また、若年層ではインターネット、高年齢層では病院・診療所や介護の専門職、公的機関の職員等から情報を得たいとする回答が多かった。

(参考)

問 12(要介護になって暮らしたい場所)・問 19(最期を迎えたい場所)のクロス集計

暮らしたい場所 \ 最期を迎えたい場所	1 自宅	2 自宅以外の家族の家	3 介護施設	4 病院・診療所
1 自宅	116	1	36	5
2 自宅以外の家族の家	1	3	0	0
3 介護施設	2	0	6	0
4 病院・診療所	27	1	30	24
5 緩和ケア施設	19	1	42	5

※問 12で1～4を、かつ問 19で1～5を選択した調査票のみを用いて作成したクロス表。

要介護になったとき自宅で暮らしたいと回答した 217 人（問 12）について、最期をどこで暮らしたいか（問 19）の回答を分析したところ、自宅が 116 人（53.4%）、介護施設又は病院・診療所 29 人（13.4%）、緩和ケア施設 19 人（11.8%）となっており、半数以上が最期まで自宅を希望しているという状況であった。

また、介護施設又は病院・診療所で暮らしたいと回答した 161 人について同様の分析を行った結果、自宅が 41 人（25.5%）、介護施設又は病院・診療所が 60 人（37.3%）、緩和ケア施設 47 人（29.2%）という結果となり、3 人に 1 人は最期まで介護施設又は病院・診療所を希望しているものの、4 人に 1 人は最期は自宅で迎えたいという回答であった。

(参考) 平成 25 年岡山県衛生統計年報 抜粋

第2-25表 人口動態統計表 死亡数、死亡の場所別/保健所別										
(1) 実数										平成25年
保 健 所 市 町 村	総 数	施設内						施設外		
		総数	病院	診療所	介護老人 保健施設	助産所	老人ホーム	総数	自宅	その他
全 国	1,268,436	1,077,685	958,755	27,942	24,069	-	66,919	190,751	163,049	27,702
岡 山 県	21,199	18,259	15,578	869	553	-	1,259	2,940	2,393	547
市 計	19,392	16,683	14,237	789	514	-	1,143	2,709	2,204	505
町 村 計	1,807	1,576	1,341	80	39	-	116	231	189	42
岡 山 市 保 健 所	6,426	5,435	4,423	350	202	-	460	991	774	217
倉 敷 市 保 健 所	4,426	3,774	3,311	171	99	-	193	652	565	87
備 前 市 保 健 所	2,851	2,484	2,247	45	71	-	121	367	297	70
備 中 市 保 健 所	2,953	2,546	2,084	190	78	-	194	407	328	79
備 北 市 保 健 所	1,117	1,020	975	20	7	-	18	97	85	12
真 庭 市 保 健 所	770	667	592	22	15	-	38	103	83	20
美 作 市 保 健 所	2,656	2,333	1,946	71	81	-	235	323	261	62
岡 山 市	6,426	5,435	4,423	350	202	-	460	991	774	217
倉 敷 市	4,426	3,774	3,311	171	99	-	193	652	565	87
津 山 市	1,306	1,133	940	28	40	-	125	173	142	31
玉 野 市	814	720	667	6	21	-	26	94	76	18
笠 岡 市	695	587	495	44	17	-	31	108	91	17
井 原 市	657	585	481	30	4	-	70	72	60	12
総 社 市	667	559	432	59	11	-	57	108	81	27
高 梁 市	565	505	478	9	6	-	12	60	49	11
新 見 市	552	515	497	11	1	-	6	37	36	1
備 前 市	574	527	493	6	13	-	15	47	35	12
瀬 戸 内 市	532	431	389	4	23	-	15	101	83	18
赤 磐 市	475	417	353	9	13	-	42	58	50	8
真 庭 市	750	648	575	22	14	-	37	102	82	20
美 作 市	487	443	367	19	19	-	38	44	32	12
浅 口 市	466	404	336	21	31	-	16	62	48	14
和 気 郡										
和 気 町	216	189	171	11	1	-	6	27	25	2
都 窪 郡										
早 島 町	107	88	68	9	3	-	8	19	17	2
浅 口 郡										
里 庄 町	130	114	87	17	6	-	4	16	13	3
小 田 郡										
矢 掛 町	231	209	185	10	6	-	8	22	18	4
真 庭 郡										
新 庄 村	20	19	17	-	1	-	1	1	1	-
苫 田 郡										
鏡 野 町	249	220	190	2	4	-	24	29	25	4
勝 田 郡										
勝 央 町	137	125	102	4	10	-	9	12	10	2
奈 義 町	72	56	34	1	3	-	18	16	16	-
英 田 郡										
西 栗 倉 村	25	21	20	-	1	-	-	4	4	-
久 米 郡										
久 米 南 町	91	77	69	1	1	-	6	14	10	4
美 咲 町	289	258	224	16	3	-	15	31	22	9
加 賀 郡										
吉 備 中 央 町	240	200	174	9	-	-	17	40	28	12

資料 「人口動態統計」 (厚生労働省)

## 在宅医療・介護等に関するアンケート調査票

■回答は、当てはまる番号を選び、その番号を○で囲んでください。

### I 基本情報

問1 あなたがお住いの地域は、どの中学校区ですか。(○は1つ)

1. 備前学区    2. 伊里学区    3. 三石学区    4. 日生学区    5. 吉永学区

問2 あなたの性別はどちらですか。(○は1つ)

1. 男性    2. 女性

問3 あなたの年齢は次のどれにあたりますか。(○は1つ)

1. 40～49歳    2. 50～59歳    3. 60～69歳    4. 70～79歳

問4 あなたの家族構成は次のどれにあたりますか。(○は1つ)

1. 単身世帯(ひとり暮らし)    2. 夫婦のみ  
3. 二世帯世帯(本人または本人夫婦と子ども)    4. 二世帯世帯(本人または本人夫婦と親)  
5. 三世帯世帯以上    6. その他

### II 医療機関の受診について

問5 あなたの今の健康状態は次のどれにあたりますか。(○は1つ)

1. よい    2. まあよい    3. ふつう    4. あまりよくない    5. よくない

問6 あなたが体の不調を感じたとき、身近に相談できる医師がいますか。(○は1つ)

1. いる    2. いない

問7 かかりつけ医は必要だと思いますか。(○は1つ)

1. 思う    2. 思わない    3. わからない

問8 かかりつけ医を決めるときの条件は何ですか。(○は3つまで)

1. 距離や交通の便などの通いやすさ    2. 医師への信頼感(診療技術や経験、説明が丁寧)  
3. 職員の対応が親切    4. 検査設備や環境の良さ  
5. デイサービス等附属施設がある    6. 専門病院や大病院への紹介をしてもらいやすい  
7. 往診や訪問看護などの在宅での医療サービスが充実している  
8. 看取りまでしてくれる    9. 特にない  
10. その他( )

### III 医療と介護について

問9 あなたは、将来介護を受ける可能性はありますか。(○は1つ)

1. ある    2. 少しある    3. あまりない    4. ない    5. わからない  
6. 現在介護を受けている

**問 10 あなたが高齢になって、常に誰かの手助けが必要になったとき、医療機関を受診する際に最も手助けをしてくれる人は誰だと思いますか。（○は1つ）**

- |          |          |         |         |
|----------|----------|---------|---------|
| 1. 家族・親族 | 2. 友人・知人 | 3. 近隣者  | 4. 民生委員 |
| 5. 専門職の人 | 6. わからない | 7. その他（ | ）       |

**問 11 あなたは何ができなくなったときに介護が必要になると思いますか。（○は3つまで）**

- |          |            |                 |
|----------|------------|-----------------|
| 1. 歩行や移動 | 2. 外出      | 3. 食事・排せつ・入浴など  |
| 4. 金銭管理  | 5. ものごとの判断 | 6. 掃除・片づけ・洗濯・調理 |
| 7. 火の始末  | 8. 人付き合い   | 9. 趣味や地域の活動     |
| 10. その他（ |            | ）               |

**問 12 あなたが高齢になって、医療と介護の手助けが必要になったとき、どこで暮らしたいと思いますか。（○は1つ）**

- |         |                    |           |
|---------|--------------------|-----------|
| 1. 自宅   | 2. 自宅以外の家族・親族の家    | 3. 病院・診療所 |
| 4. 介護施設 | 5. 民間のケア付き有料老人ホーム等 | 6. わからない  |
| 7. その他（ |                    | ）         |

**問 13 問 12 で選択をした理由は何ですか。（○は3つまで）**

- |                    |                     |
|--------------------|---------------------|
| 1. 安心できる           | 2. 病状が急変したときの対応ができる |
| 3. 専門的ケアを受けたい      | 4. 身近な家族に支えてもらいたい   |
| 5. 家族に心身の負担をかけたくない | 6. 自分の心身の負担を減らしたい   |
| 7. 経済的負担をかけたくない    | 8. 環境がよい            |
| 9. 暮らしやすい          | 10. 家族や親戚の協力は得られない  |
| 11. その他（           | ）                   |

**問 14 あなたが、介護をする立場になる可能性はありますか。（○は1つ）**

- |              |         |          |       |          |
|--------------|---------|----------|-------|----------|
| 1. ある        | 2. 少しある | 3. あまりない | 4. ない | 5. わからない |
| 6. 現在介護をしている |         |          |       |          |

**問 15 家族を介護する必要が生じたとき、介護に対するあなたの考えに最も近いものはどれですか。（○は1つ）**

- |                       |                        |
|-----------------------|------------------------|
| 1. 家族だけで頑張りたい         | 2. 色々な支援を受けながら家族で頑張りたい |
| 3. 病院に入院させることを考えたい    | 4. 施設に入所させることを考えたい     |
| 5. 他の家族が介護するのなら協力する   | 6. 介護する気持ちはあるが現実的には無理だ |
| 7. 自分が介護する気持ちは今のところない | 8. そのときになってみないとわからない   |

**問 16 家族が高齢になって、医療と介護の手助けが必要になったとき、どこで暮らしてもらいたいですか。（○は1つ）**

- |         |                    |           |
|---------|--------------------|-----------|
| 1. 自宅   | 2. 自宅以外の家族・親族の家    | 3. 病院・診療所 |
| 4. 介護施設 | 5. 民間のケア付き有料老人ホーム等 | 6. わからない  |
| 7. その他（ |                    | ）         |

**問 17 問 16 で選択をした理由は何ですか。(○は3つまで)**

1. 安心できる
2. 病状が急変したときの対応ができる
3. 専門的ケアを受けさせたい
4. 家族が介護しやすいから
5. 本人に心身の負担をかけたくない
6. 自分の心身の負担を減らしたい
7. 経済的負担をかけたくない
8. 環境がよい
9. 暮らしやすい
10. 家族が介護することは困難だから
11. その他 ( )

**問 18 あなたが家族を介護する立場になったとき、どのような手助けが必要だと思いますか。(○は3つまで)**

1. 相談場所
2. 医療を継続して受けるための援助 (通院支援など)
3. 買い物、食事、掃除、洗濯などの生活支援
4. 訪問型医療サービス (訪問診療、訪問看護、訪問リハビリなど)
5. 介護サービス (デイサービスや入浴サービス、身体介護支援、見守り支援)
6. 病状の急変や緊急時の相談及び対応などの支援体制
7. 経済的優遇措置
8. 職場や地域の理解 (介護休暇や地域の当番などへの配慮)
9. 短期の施設入所 (ショートステイ) や宅老所
10. その他 ( )

**IV 終末期(治る見込みがなく死期が迫ってきているとき)について**

**問 19 終末期にあなたはどこで最期を迎えたいですか。(○は1つ)**

1. 自宅
2. 自宅以外の家族の家
3. 介護施設
4. 病院・診療所
5. 緩和ケア (心身の苦痛を和らげるケア) を受けることができる施設
6. その時になってみないとわからない
7. その他 ( )

**問 20 あなたはご家族の最期をどこで看取りたいですか。(○は1つ)**

1. 自宅
2. 自宅以外の家族の家
3. 介護施設
4. 病院・診療所
5. 緩和ケア (心身の苦痛を和らげるケア) を受けることができる施設
6. その時になってみないとわからない
7. その他 ( )

**問 21 あなたや家族が、自宅での看取りを可能にするためには、どんなことがあればいいと思いますか。(○は3つまで)**

1. 家族の介護負担を軽減する
2. 病気が急変したときに速やかに医療を受けることができる
3. 日常的に適切な医療を受けることができる
4. 日常的に適切な介護を受けられること
5. 住宅環境が整うこと
6. 家族の協力
7. 経済力
8. その他 ( )

